

2台のUPS用の壁掛け式の並列保守バイパス盤

Galaxy VS、Easy UPS 3S、およびEasy UPS 3M向け

設置

GVSBPAR10K30H、GVSBPAR40K50H、GVSBPAR60K120H

最新情報は、Schneider ElectricのWebサイトをご確認ください
2023年10月



法律情報

本書に記載されている情報は、製品/ソリューションに関する一般的な説明、技術的特性、および推奨事項を含んでいます。

本書は、詳細な調査や運用/現場別の開発計画や概略図の代用となるものではありません。また、特定ユーザーの用途に対する製品/ソリューションの適合性または信頼性を判断するために使用すべきものではありません。関連する特定の用途または使用に関して製品/ソリューションの適切かつ包括的なリスク分析、評価、および試験を行うこと、または選択した専門家（インテグレーター、設計者等）に実施させることは、当該ユーザーの義務とします。

本書で言及されているシュナイダーエレクトリックブランドならびにシュナイダーエレクトリックSEおよびその子会社の商標は、シュナイダーエレクトリックSEまたはその子会社の所有物です。その他すべてのブランドは、各所有者の商標である場合があります。

本書およびその記載内容は、該当する著作権法で保護されており、情報提供のみを目的とし提供されています。本書のいかなる部分も、いかなる形式や手段（電子的、機械的、複写、記録、またはその他）によっても、どのような目的であっても、シュナイダーエレクトリックから書面による事前の許可を得ずに、複製または頒布することはできません。

シュナイダーエレクトリックは、「現状のまま」文書を調べる非独占な個人ライセンスを除き、本ガイドまたはその記載内容を商業的に使用する権利またはライセンスを付与することはありません。

シュナイダーエレクトリックは、本書の内容またはその形式に関して、いつでも予告なく変更または更新する権利を有します。

適用法により認められる範囲で、シュナイダーエレクトリックおよびその子会社は、本書の情報コンテンツの誤りや記入漏れまたは本書に含まれる情報の使用に起因する結果、もしくはその結果から生じる結果に関し、一切責任を負いません。

目次

重要な安全関連手順 — ここに記載されている指示を保管しておいてく ださい.....	5
電磁適合性.....	6
安全性に関する注意.....	6
インストール後の安全性に関する追加の注意.....	8
電気的安全性.....	9
仕様.....	10
Galaxy VS向け推奨ケーブルサイズ.....	11
Galaxy VS向け推奨上流保護.....	13
Easy UPS 3S / Easy UPS 3M向け推奨ケーブルサイズ.....	14
Easy UPS 3S / Easy UPS 3M向け推奨上流保護.....	16
トルク仕様.....	18
並列保守バイパス盤の積荷重量と寸法.....	18
並列保守バイパス盤の重量と寸法.....	18
離隔距離.....	19
適合規格.....	19
環境.....	19
単線接続図.....	20
Galaxy VSの設置手順.....	23
Easy UPS 3S / Easy UPS 3Mの設置手順.....	24
並列保守バイパス盤の壁面への取り付け.....	25
ケーブルの準備.....	28
中性点ジャンパーの取り外し.....	29
電源ケーブルのGVSBPAR10K30Hへの接続.....	31
電源ケーブルの3:1 UPSシステムのGVSBPAR40K50Hへの接続.....	32
電源ケーブルの3:3 UPSシステムのGVSBPAR40K50Hへの接続.....	35
電源ケーブルの3:1 UPSシステムのGVSBPAR60K120Hへの接続.....	36
電源ケーブルの3:3 UPSシステムのGVSBPAR60K120Hへの接続.....	39
Galaxy VS UPSの信号ケーブルの接続.....	40
Easy UPS 3S / Easy UPS 3Mの信号ケーブルの接続.....	42
翻訳済み安全ラベルの製品への追加.....	45
並列保守バイパス盤の撤去または新しい場所への移動.....	46

重要な安全関連手順 — ここに記載されている指示を保管しておいてください

ここに記載されている指示を注意深く読み、装置の設置、操作、整備、保守を行う前に装置をよく理解してください。以下の安全に関するメッセージは、危険の可能性を警告するため、または手順を明確または簡潔にする情報への注意を喚起するために、このマニュアルまたは装置を通じて随所に記載されています。



「危険」または「警告」の安全に関するメッセージに対する記号の説明は、指示に従わないと人体への危害を引き起こす電氣的な危険性があることを示しています。



これは安全警報の記号です。人体への危害の危険性があることを警報するために使用されます。人体への危害や死亡の可能性を避けるため、この記号が付いた安全に関するメッセージすべてに従ってください。

▲ 危険

「危険」は、指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになる危険な状況を示します。
上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

▲ 警告

「警告」は、指示に従わないと、死亡または重傷を負う可能性がある危険な状況を示します。
上記の指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷を負う可能性があります。

▲ 注意

「注意」は、指示に従わないと、軽傷を負う可能性がある危険な状況を示します。
上記の指示に従わないと、負傷または機器の損傷を負う可能性があります。

注記

「注記」は、人体への危害に関連しない実務に対応するために使用されます。安全警報の記号は、このタイプの安全に関するメッセージには使用しないものとします。
上記の指示に従わないと、機器の損傷を負う可能性があります。

ご注意ください

電気機器は有資格者のみが設置、操作、修理、保守するものとします。この資料を使用することに起因するいかなる結果についても、Schneider Electricは責任を負わないものとします。

有資格者とは、電気機器の構造、設置、操作に関するスキルと知識を持ち、危険を認識して回避するための訓練を受けた者です。

IEC 62040-1「無停電電源装置（UPS）第1部：安全に関する要求事項」により、バッテリーアクセスを含む本製品は、適切な技術者が点検、設置、保守する必要があります。

適切な技術者とは、リスクを認識し、本製品が引き起こす危険を回避するための関連教育および経験を有する技術者を指します（参考：IEC 62040、3.102項）。

電磁適合性

注記

電磁波障害のおそれ

本製品は、カテゴリC2に属するUPS製品です。居住環境では本製品により無線干渉が発生する可能性があり、そのような場合にはユーザーによる追加措置が必要とされることがあります。

上記の指示に従わないと、機器の損傷を負う可能性があります。

安全性に関する注意

⚠️ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

設置マニュアルの指示をすべて読んでから、この製品の設置や作業を開始してください。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

⚠️ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

すべての作業が完了し、設置場所の清掃が終了するまで、この製品を設置しないでください。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

⚠️ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

この製品は、Schneider Electric社の仕様と要件に従って設置する必要があります。特に、外部および内部の保護（上流ブレーカー、バッテリーブレーカー、ケーブル配線など）と環境要件は重要です。これらの要件に従わなかった場合、Schneider Electric社は責任を負わないものとします。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

⚠️ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

UPSシステムは地方自治体および国家における規則に従って設置される必要があります。UPSシステムは、以下の規格に従って設置してください。

- IEC 60364 (60364-4-41 - 感電に対する保護、60364-4-42 - 熱効果に対する保護、60364-4-43 - 過電流に対する保護を含む)、または
- NEC NFPA 70、または
- カナダの電気規則 (C22.1、パート1)

使用地域で適用される規格に従ってください。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

⚠️⚠️ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

- この製品は、導電性汚染物質や湿気のない、温度管理された屋内環境に設置してください。
- この製品は、システムの重量を支えられる、不燃性の平坦で硬い床面（例、コンクリート面）に設置する必要があります。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

⚠️⚠️ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

この製品は、設計上、次のような影響物が存在する動作環境に設置することはできません。

- 有害な煙
- 爆発の危険があるガス、粉体混合物、腐食性ガス、他の熱源からの伝導熱や輻射熱
- 水分、磨耗性塵埃、蒸気、または過度な湿度
- 菌類、昆虫類、有害生物
- 塩分を含んだ空気または汚染された冷却材
- IEC 60664-1が規定するレベル2を超える汚染物
- 異常振動、衝撃、傾斜
- 直射日光、熱源、強力な電磁場

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

⚠️⚠️ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

取り付けられている配線口カバーに、ドリルまたは切削によりケーブルや電線管用の穴を開けないでください。また、このUPSシステムの近くで穴開けまたは切断作業を行わないでください。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

⚠️⚠️ 警告

アークフラッシュの危険

設置マニュアルで指示されていない限り、この製品に機械的変更（キャビネット部品の取り外し、ドリルや切削による穴開けなど）を加えないでください。

上記の指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷を負う可能性があります。

注記

過熱の危険

この製品周囲のスペースの要件を順守し、製品の動作中に製品の換気口をふさがないでください。

上記の指示に従わないと、機器の損傷を負う可能性があります。

インストール後の安全性に関する追加の注意

⚠️⚠️ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

すべての作業が完了し、設置場所の清掃が終了するまで、UPSシステムを設置しないでください。本製品を設置した後、設置場所で追加の工事が必要な場合は、製品の電源を切り、納品時に同梱されていた保護梱包袋で製品を覆います。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

電氣的安全性

このマニュアルには、UPSシステムの設置および保守作業の際に守らなければならない重要な安全関連手順が記載されています。

⚠️⚠️ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

- 電気機器の据え付け、運転、点検、保守は、必ず有資格者が実施する必要があります。
- 適切な個人保護具 (PPE) を使用し、安全な電気作業方法に従って作業してください。
- ACとDC用の断路装置については、その機能が記された他メーカーのものを使用し、すぐに使用可能な状態にする必要があります。
- このUPSシステムに対する作業は、内部、外部の別を問わず、このUPS装置のあらゆる電源をオフにしてから実施してください。
- このUPSシステムの作業を始める前に、保護接地も含め、あらゆる端子間で危険な電圧がかかっていないことを確認してください。
- UPSには、蓄電池が内蔵されています。主電源が断たれた状態でも、危険な電圧が存在する可能性があります。このUPSシステムを設置または点検する前に、必ず装置電源をオフにするとともに、主電源とバッテリーの接続を解除してください。このUPS装置内部を開く場合は、コンデンサーの放電が終わるまで5分程度待ってから開いてください。
- UPSは適切に接地処理 / 接地されていなければなりません。また、高い漏れ電流のため、接地処理 / 接地導体を最初に接続する必要があります。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

UPSの入力電源が外部断路装置を通じて接続されているときで、開放により中性線断となる場合、もしくは自動のバックフィード防止装置が機器外部に設置されているときもしくはIT配電システムに接続されているときは、UPS入力端子およびUPSから離隔しているすべての一次電源断路装置およびそれら断路装置とUPS間の外部アクセスポイントに、次のテキスト (またはUPSシステムが設置されている国の言語で同等に記載されたテキスト) を表示するラベルをユーザーが貼り付ける必要があります。

⚠️⚠️ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

電圧バックフィードの恐れがあります。この回路で作業する前にUPSを絶縁し、保護接地を含むすべての端子間の危険電圧を確認してください。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

仕様

注記： 最大短絡遮断容量：10 kA RMS対称実行値。

冗長性1+1の並列システムでは、並列保守バイパス盤は中性点電流（250 A）を超えない限り、120 kW/kVAまでの負荷をサポートできます。

- 380 Vでは、95 kVAの非線形負荷で最大中性点電流に達します。
- 400 Vでは、100 kVAの非線形負荷で最大中性点電流に達します。

容量2+0の並列システムでは、並列保守バイパス盤は中性点電流（500 A）を超えない限り、240 kW/kVAまでの負荷をサポートできます。

- 380 Vでは、190 kVAの非線形負荷で最大中性点電流に達します。
- 400 Vでは、200 kVAの非線形負荷で最大中性点電流に達します。

Galaxy VS向け推奨ケーブルサイズ

▲ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

すべての配線は、国が定める基準および / または電気規定に準拠する必要があります。

- GVSBBPAR10K30Hの最大許容入力ケーブル / 負荷ケーブルサイズは35 mm²、最大許容UPS入力 / 出力ケーブルサイズは16 mm²です。
- GVSBBPAR40K50Hの最大許容入力ケーブル / 負荷ケーブルサイズは70 mm²、最大許容UPS入力 / 出力ケーブルサイズは25 mm²です。
- GVSBBPAR60K120Hの最大許容入力ケーブル / 負荷ケーブルサイズは185 mm²、最大許容UPS入力 / 出力ケーブルサイズは50 mm²です。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

注記： 過電流保護は、別途ご用意ください。

このマニュアルに記載されているケーブルサイズは、IEC 60364-5-52の表B.52.5の以下の表記内容に基づいています。

- 導体温度90 °C
- 周囲温度30 °C
- 銅導体またはアルミニウム導体を使用
- 設置方法C

PEのサイズは、IEC 60364-4-54の表54.2に基づいています。

周囲温度が30 °Cを超える場合、IECで明記されている補正係数に従ってより大きな導体を選択する必要があります。アルミニウムケーブルは、周囲温度が30 °Cを超える場合には推奨されません。

注記： 中性導体は、非線形負荷から高調波が発生した場合の1.73倍の相電流を処理できるサイズです。高調波電流は発生しない、または低い高調波電流が予想される場合は、中性導体のサイズを相導体に従って変更できます。

銅

商用参照名	GVSBBPAR10K30H						GVSBBPAR40K50H			
	容量 (2+0)			冗長性 (1+1)			容量 (2+0)		冗長性 (1+1)	
並列システムタイプ	20 kW	40 kW	60 kW	10 kW	20 kW	30 kW	80 kW	100 kW	40 kW	50 kW
並列システム定格	20 kW	40 kW	60 kW	10 kW	20 kW	30 kW	80 kW	100 kW	40 kW	50 kW
入力相 (mm ²)	6	16	35	6	6	10	50	70	16	25
入力PE (mm ²)	6	16	16	6	6	10	25	35	16	16
入力N (mm ²)	10	35	2 x 16	6	10	16	2 x 50	2 x 70	35	50
UPS入力配線 (mm ²)	6	6	10	6	6	10	16	25	16	25
UPS出力配線 (mm ²)	6	6	10	6	6	10	16	16	16	16
UPS PE (mm ²)	6	6	10	6	6	10	16	16	16	16
UPS N (mm ²)	6	10	16	6	10	16	2 x 16	2 x 16	2 x 16	2 x 16
負荷配線 (mm ²)	6	16	25	6	6	10	50	70	16	16
負荷PE (mm ²)	6	16	16	6	6	10	25	35	16	16
負荷N (mm ²)	10	35	2 x 16	6	10	16	2 x 50	2 x 70	35	50

銅

商用参照名	GVSBPAR60K120H							
並列システムタイプ	容量 (2+0)				冗長性 (1+1)			
並列システム定格	120 kW	160 kW	200 kW	240 kW	60 kW	80 kW	100 kW	120 kW
入力相 (mm ²)	95	120	185	2 x 120	35	50	70	95
入力PE (mm ²)	50	70	95	120	25	25	35	50
入力N (mm ²)	120	2 x 120	2 x 150	3 x 150	50	95	120	120
UPS入力配線 (mm ²)	35	50	2 x 25	2 x 50	35	50	2 x 25	2 x 50
UPS出力配線 (mm ²)	25	50	2 x 25	2 x 35	25	50	2 x 25	2 x 35
UPS PE (mm ²)	25	25	35	50	25	25	35	50
UPS N (mm ²)	50	95	3 x 35	3 x 35	50	2 x 50	3 x 35	3 x 35
負荷配線 (mm ²)	95	120	185	2 x 95	25	50	70	95
負荷PE (mm ²)	50	70	95	95	16	25	35	50
負荷N (mm ²)	120	2 x 120	2 x 150	3 x 150	50	95	120	120

アルミニウム

商用参照名	GVSBPAR10K30H						GVSBPAR40K50H			
並列システムタイプ	容量 (2+0)			冗長性 (1+1)			容量 (2+0)		冗長性 (1+1)	
並列システム定格	20 kW	40 kW	60 kW	10 kW	20 kW	30 kW	80 kW	100 kW	40 kW	50 kW
入力相 (mm ²)	6	25	NA	6	6	NA	70	NA	25	NA
入力PE (mm ²)	6	16	NA	6	6	NA	35	NA	16	NA
入力N (mm ²)	2 x 16	2 x 16	NA	6	16	NA	2 x 70	NA	50	NA
UPS入力配線 (mm ²)	6	6	NA	6	6	NA	25	NA	25	NA
UPS出力配線 (mm ²)	6	6	NA	6	6	NA	16	NA	16	NA
UPS PE (mm ²)	6	6	NA	6	6	NA	16	NA	16	NA
UPS N (mm ²)	6	16	NA	6	16	NA	2 x 16	NA	2 x 16	NA
負荷配線 (mm ²)	6	16	NA	6	6	NA	70	NA	16	NA
負荷PE (mm ²)	6	16	NA	6	6	NA	35	NA	16	NA
負荷N (mm ²)	16	2 x 16	NA	6	2 x 16	NA	2 x 70	NA	50	NA

アルミニウム

商用参照名	GVSBPAR60K120H							
並列システムタイプ	容量 (2+0)				冗長性 (1+1)			
並列システム定格	120 kW	160 kW	200 kW	240 kW	60 kW	80 kW	100 kW	120 kW
入力相 (mm ²)	150	185	2 x 120	NA	50	70	95	NA
入力PE (mm ²)	95	95	150	NA	25	70	50	NA
入力N (mm ²)	185	2 x 120	3 x 150	NA	70	150	185	NA
UPS入力配線 (mm ²)	50	2 x 35	2 x 50	NA	50	2 x 35	2 x 50	NA
UPS出力配線 (mm ²)	50	2 x 35	2 x 35	NA	50	2 x 35	2 x 35	NA
UPS PE (mm ²)	25	35	50	NA	25	35	50	NA
UPS N (mm ²)	2 x 35	3 x 35	3 x 50	NA	2 x 35	3 x 35	3 x 50	NA

アルミニウム (続き)

商用参照名	GVSBPAR60K120H							
並列システムタイプ	容量 (2+0)				冗長性 (1+1)			
並列システム定格	120 kW	160 kW	200 kW	240 kW	60 kW	80 kW	100 kW	120 kW
負荷配線 (mm ²)	120	185	2 x 120	NA	50	70	95	NA
負荷PE (mm ²)	70	95	120	NA	25	35	50	NA
負荷N (mm ²)	185	2 x 120	4 x 95	NA	70	150	185	NA

Galaxy VS向け推奨上流保護

注記： 地域での指令により4極サーキットブレーカーが必要な場合：ライン-中性相間の非線形負荷のために中性導体に大きな電流が流れることが予想される場合、サーキットブレーカーの定格は予測される中性点電流に従って決める必要があります。

入力

商用参照名	GVSBPAR10K30H					
並列システムタイプ	容量 (2+0)			冗長性 (1+1)		
並列システム定格	20 kW	40 kW	60 kW	10 kW	20 kW	30 kW
ブレーカータイプ	LV429674	LV429671	LV430671	LV429676	LV429674	LV429672
In (A)	40	80	125	25	40	63
Ir (A)	40	80	125	20	40	63
Im (A)	500 (固定)	640 (固定)	1250 (固定)	300 (固定)	500 (固定)	

入力

商用参照名	GVSBPAR40K50H			
並列システムタイプ	容量 (2+0)		冗長性 (1+1)	
並列システム定格	80 kW	100 kW	40 kW	50 kW
ブレーカータイプ	LV430670	LV431671	LV429671	LV429670
In (A)	160	200	80	100
Ir (A)	160	200	80	100
Im (A)	1250 (固定)	Inの5 ~ 10倍	640 (固定)	800 (固定)

入力

商用参照名	GVSBPAR60K120H							
並列システムタイプ	容量 (2+0)				冗長性 (1+1)			
並列システム定格	120 kW	160 kW	200 kW	240 kW	60 kW	80 kW	100 kW	120 kW
ブレーカータイプ	LV431670	LV432695	LV432695	LV432895	LV430671	LV430670	LV431671	LV431670
In (A)	250	320	400	500	125	160	200	250
Ir (A)	250	1	0.94		125	160	200	250
Im (A) / I _{sd} (A)	Inの5 ~ 10倍	1.5 ~ 10			1250 (固定)		Inの5 ~ 10倍	

Easy UPS 3S / Easy UPS 3M向け推奨ケーブルサイズ

▲危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

すべての配線は、国が定める基準および / または電気規定に準拠する必要があります。

- GVSBP40K50Hの最大許容入力 / バイパスケーブル、負荷ケーブルサイズは70 mm²、最大許容UPS入力 / バイパス / 出力ケーブルサイズは25 mm²です。
- GVSBP60K120Hの最大許容入力 / バイパスケーブル、負荷ケーブルサイズは185 mm²、最大許容UPS入力 / バイパス / 出力ケーブルサイズは50 mm²です。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

注記： 過電流保護は、別途ご用意ください。

このマニュアルに記載されているケーブルサイズは、IEC 60364-5-52の表B.52.5の以下の表記内容に基づいています。

- 導体温度90 °C
- 周囲温度30 °C
- 銅導体またはアルミニウム導体を使用
- 設置方法C

PEのサイズは、IEC 60364-4-54の表54.2に基づいています。

周囲温度が30 °Cを超える場合、IECで明記されている補正係数に従ってより大きな導体を選択する必要があります。アルミニウムケーブルは、周囲温度が30 °Cを超える場合には推奨されません。

注記： 中性導体は、非線形負荷から高調波が発生した場合の1.73倍の相電流を処理できるサイズです。高調波電流は発生しない、または低い高調波電流が予想される場合は、中性導体のサイズを相導体に従って変更できます。

Easy UPS 3S – 3:1 UPSシステム

商用参照名		GVSBP40K50H				GVSBP60K120H					
並列システムタイプ		容量 (2+0)		冗長性 (1+1)		容量 (2+0)				冗長性 (1+1)	
並列システム定格		20 kVA	30 kVA	10 kVA	15 kVA	20 kVA	30 kVA	40 kVA	60 kVA	20 kVA	30 kVA
1系統電源システム	入力相 (mm ²)	35	50	16	25	35	50	2 x 35	2 x 70	35	50
	入力N (mm ²)	35	50	16	25	35	50	2 x 35	2 x 70	35	50
	入力PE (mm ²)	16	25	16	16	16	25	35	70	16	25
2系統電源システム	バイパス相 (mm ²)	35	50	16	25	35	50	2 x 35	2 x 70	35	50
	バイパスN (mm ²)	35	50	16	25	35	50	2 x 35	2 x 70	35	50
	バイパスPE (mm ²)	16	25	16	16	16	25	35	70	16	25
負荷配線 (mm ²)		35	50	16	25	35	50	2 x 35	2 x 70	35	50
負荷N (mm ²)		35	50	16	25	35	50	2 x 35	2 x 70	35	50
負荷PE (mm ²)		16	25	16	16	16	25	35	70	16	25
UPS入力配線 (mm ²) / UPSバイパス (mm ²)		16	25	16	25	16	25	35	50	35	50
UPS出力配線 (mm ²)		16	25	16	25	16	25	35	50	35	50
UPS N (mm ²)		16	25	16	25	16	25	35	50	35	50
UPS PE (mm ²)		16	16	16	16	16	16	16	25	16	25

Easy UPS 3S – 3:3 UPSシステム

商用参照名		GVSBP40K50H									
並列システムタイプ		容量 (2+0)					冗長性 (1+1)				
並列システム定格		20 kVA	30 kVA	40 kVA	60 kVA	80 kVA	10 kVA	15 kVA	20 kVA	30 kVA	40 kVA
1系統電源システム	入力相 (mm ²)	10	16	25	35	50	6	6	10	16	25
	入力N (mm ²)	2 x 10	2 x 16	2 x 25	2 x 25	2 x 50	6	6	10	16	25
	入力PE (mm ²)	10	16	16	16	25	6	6	10	16	16
2系統電源システム	バイパス相 (mm ²)	10	16	25	25	50	6	6	10	16	25
	バイパスN (mm ²)	2 x 10	2 x 16	2 x 25	2 x 25	2 x 50	6	6	10	16	25
	バイパスPE (mm ²)	10	16	16	16	25	6	6	10	16	16
負荷配線 (mm ²)		10	16	25	25	50	6	6	10	16	25
負荷N (mm ²)		2 x 10	2 x 16	2 x 25	2 x 25	2 x 50	6	6	10	16	25
負荷PE (mm ²)		10	16	16	16	25	6	6	10	16	16
UPS入力配線 (mm ²) / UPSバイパス (mm ²)		6	6	10	16	25	6	6	10	16	25
UPS出力配線 (mm ²)		6	6	10	16	25	6	6	10	16	25
UPS N (mm ²)		6	6	10	16	25	6	6	10	16	25
UPS PE (mm ²)		6	6	10	16	16	6	6	10	16	16

Easy UPS 3M – 3:3 UPSシステム

商用参照名		GVSBP60K120H			
並列システムタイプ		容量 (2+0)		冗長性 (1+1)	
並列システム定格		120 kVA	160 kVA	60 kVA	80 kVA
1系統電源システム	入力相 (mm ²)	95	120	35	50
	入力N (mm ²)	2 x 95	2 x 120	2 x 25	2 x 50
	入力PE (mm ²)	50	70	16	25
2系統電源システム	バイパス相 (mm ²)	95	120	35	50
	バイパスN (mm ²)	2 x 95	2 x 120	2 x 25	2 x 50
	バイパスPE (mm ²)	50	70	16	25
負荷配線 (mm ²)		95	120	25	50
負荷N (mm ²)		2 x 95	2 x 120	2 x 25	2 x 50
負荷PE (mm ²)		50	70	16	25
UPS入力配線 (mm ²) / UPSバイパス (mm ²)		35	50	35	50
UPS出力配線 (mm ²)		25	50	25	50
UPS N (mm ²)		2 x 25	2 x 50	2 x 25	2 x 50
UPS PE (mm ²)		16	25	16	25

Easy UPS 3S / Easy UPS 3M向け推奨上流保護

Easy UPS 3S – 3:1 UPSシステム

入力 / バイパス (2系統主電源システムの場合のみ)

商用参照名	GVSBPAR40K50H				GVSBPAR60K120H					
	容量 (2+0)		冗長性 (1+1)		容量 (2+0)				冗長性 (1+1)	
並列システム定格	20 kVA	30 kVA	10 kVA	15 kVA	20 kVA	30 kVA	40 kVA	60 kVA	20 kVA	30 kVA
プレーカータイプ	C120H-C-100A/ NS-X100F 100A TM100D C10F3T-M100	CompactNS-X160F 160A TM160D C16F3T-M160	iC65H-C-50A/ C60H-C-50A	C120H-C-80A / NS-X100F 80A TM80D C10F3T-M080	C120H-C-100A/ NS-X100F 100A TM100D C10F3T-M100	CompactNS-X160F 160A TM160D C16F3T-M160	CompactNS-X250F TM200D C25F3T-M200	NS-X400N mic2.3 (C40-N32-D400)	C120H-C-100A/ NS-X100F 100A TM100D C10F3T-M100	CompactNS-X160F 160A TM160D C16F3T-M160
In (A)	固定	160	固定	固定	固定	160	250	400	固定 / 100	160
Ir (A)	固定 / 100	144	固定	固定 / 80	固定 / 100	144	200	280	固定 / 100	144
Im (A)	固定	固定	固定	固定	固定	固定	5 ~ 10*In	Io=1.5 ~ 10	固定	固定

Easy UPS 3S – 3:3 UPSシステム

入力

商用参照名	GVSBPAR40K50H									
並列システムタイプ	容量 (2+0)					冗長性 (1+1)				
並列システム定格	20 kVA	30 kVA	40 kVA	60 kVA	80 kVA	10 kVA	15 kVA	20 kVA	30 kVA	40 kVA
ブレーカータイプ	iC65H-C-40A / C60H-C-40A	iC65H-C-63A / C60H-C-63A / C120H-C-63A	C120H-C-80A / NS-X100F 80A TM80D C10F3T-M080	Compact NS-X160F TM125D (C16F3T-M125)	Compact NS-X160F TM160D (C16F3T-M160)	iC65H-C-20A / C60H-C-20A	iC65H-C-32A / C60H-C-32A	iC65H-C-40A / C60H-C-40A	iC65H-C-63A / C60H-C-63A / C120H-C-63A	C120H-C-80A / NS-X100F 80A TM80D C10F3T-M080
In (A)	固定	固定	固定 / 80	125	160	固定	固定	固定	固定	固定 / 80
Ir (A)	固定	固定	固定 / 80	125	160	固定	固定	固定	固定	固定 / 80
Im (A)	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定

バイパス (2系統主電源システムの場合のみ)

商用参照名	GVSBPAR40K50H									
並列システムタイプ	容量 (2+0)					冗長性 (1+1)				
並列システム定格	20 kVA	30 kVA	40 kVA	60 kVA	80 kVA	10 kVA	15 kVA	20 kVA	30 kVA	40 kVA
ブレーカータイプ	iC65H-C-40A / C60H-C-40A	iC65H-C-63A / C60H-C-63A / C120H-C-63A	C120H-C-80A / NS-X100F 80A TM80D C10F3T-M080	Compact NS-X100F TM100D (C10F3-TM100)	Compact NS-X160F TM160D (C16F3-TM160)	iC65H-C-20A / C60H-C-20A	iC65H-C-32A / C60H-C-32A	iC65H-C-40A / C60H-C-40A	iC65H-C-63A / C60H-C-63A / C120H-C-63A	C120H-C-80A / NS-X100F 80A TM80D C10F3T-M080
In (A)	固定	固定	固定 / 80	100	160	固定	固定	固定	固定	固定 / 80
Ir (A)	固定	固定	固定 / 80	100	144	固定	固定	固定	固定	固定 / 80
Im (A)	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定	固定

Easy UPS 3M – 3:3 UPSシステム

入力 / バイパス (2系統主電源システムの場合のみ)

商用参照名	GVSBPAR60K120H			
並列システムタイプ	容量 (2+0)		冗長性 (1+1)	
並列システム定格	120 kVA		160 kVA	80 kVA
ブレーカータイプ	NSX250N mic2.2 (C25N32D250)		NSX400N mic2.3 (C40N32D400)	Compact NSX160F TM125D (C16F3TM125)
Io (A)	250		400	125
Ir (A)	200		280	125
I _{sd} (A)	1.5 ~ 10		1.5 ~ 10	800 (固定)
				1250 (固定)

トルク仕様

ボルトサイズ	トルク
M4	1.7 Nm
M5	2.2 Nm
M6	5 Nm
M8	17.5 Nm
M10	30 Nm
M12	50 Nm

並列保守バイパス盤の積荷重量と寸法

商用参照名	重量kg	高さmm ¹	幅mm	奥行きmm ¹
GVSBBPAR10K30H	56	500	800	1200
GVSBBPAR40K50H	96	580	800	1200
GVSBBPAR60K120H	120	500	1000	1200

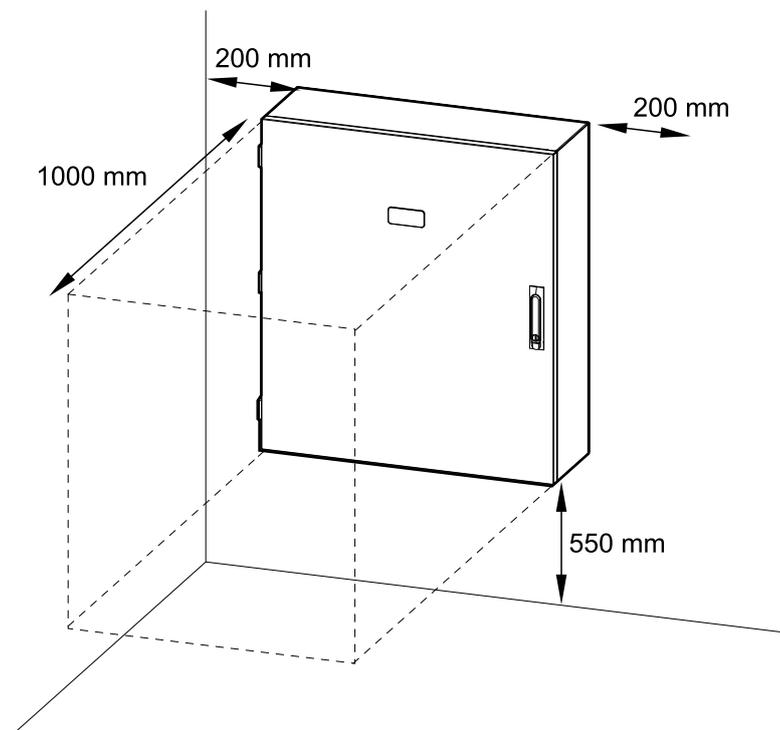
並列保守バイパス盤の重量と寸法

商用参照名	重量kg	高さmm	幅mm	奥行きmm
GVSBBPAR10K30H	35	700	650	210
GVSBBPAR40K50H	86	850	750	250
GVSBBPAR60K120H	110	1000	900	280

1. 製品は水平方向に梱包されているため、出荷時の高さとお行き寸法が製品本体とは異なります。

離隔距離

注記： 離隔距離の必要寸法は、通気性と保守作業の目的でのみ表示しています。使用地域での追加要求事項については、使用地域の安全規格および基準を参照してください。



適合規格

安全性	IEC 62040-1:2017, Edition 2.0, Uninterruptible Power Systems (UPS) - Part 1: Safety requirements
性能	IEC 62040-3:2011-03, 2nd edition Uninterruptible Power Systems (UPS) - Part 3: Method of specifying the performance and test requirements (第2版無停電電源装置 (UPS) 第3部: 性能規定方法および試験要求事項)
環境要件	IEC 62040-4:2013-04, 1st edition Uninterruptible Power Systems (UPS) - Part 4: Environmental aspects – Requirements and reporting (第1版無停電電源装置 (UPS) 第4部: 環境的な要素 - 要件および報告)
マーキング	CE
接地システム	TN-C、TN-S、TT
過電圧カテゴリ	OVCIII
保護クラス	1
汚染度	2

環境

	動作時	保管時
温度	0 °C ~ 40 °C	-25 °C ~ 55 °C
相対湿度	5 ~ 95%、結露なきこと	10 ~ 80%、結露なきこと
標高	0 ~ 3000 m	
保護クラス	IP20	
塗装色	RAL 9003、光沢度85%	

単線接続図

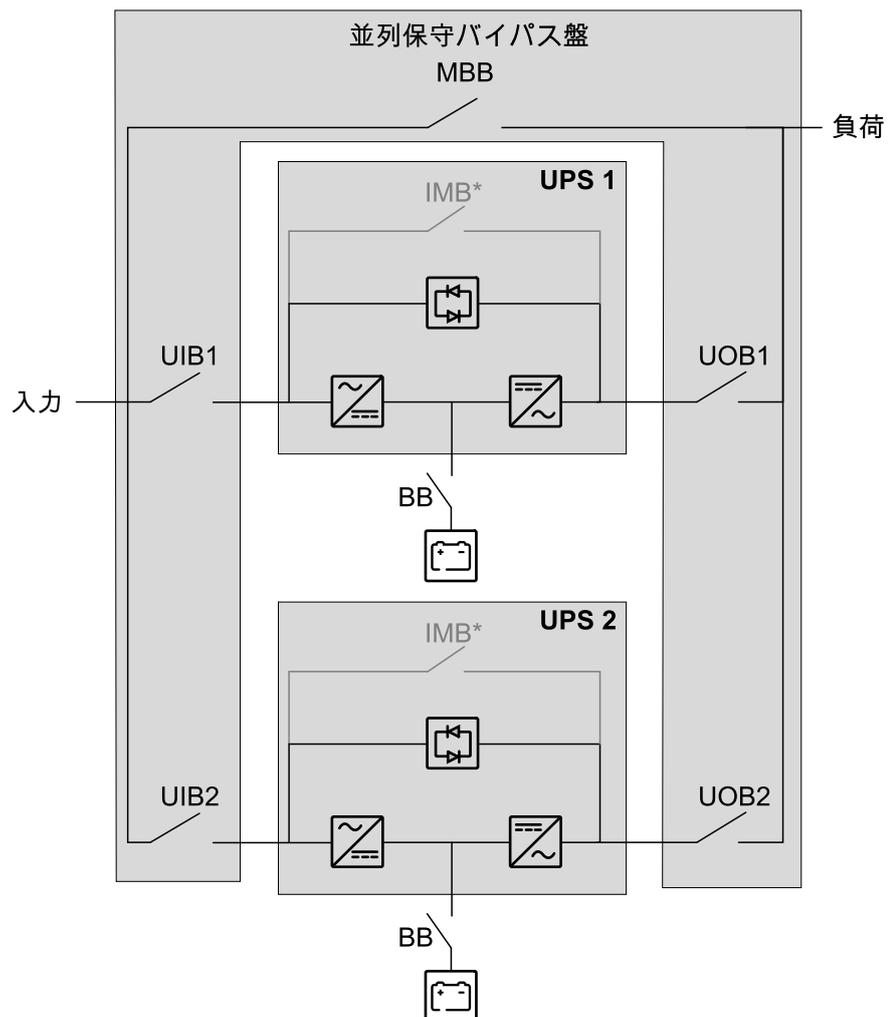
Galaxy VS単線接続図

UIB1	UPS 1のユニット入力ブレーカー
UIB2	UPS 2のユニット入力ブレーカー
MBB	保守バイパスブレーカー
IMB	内部保守ブレーカー
UOB1	UPS 1のユニット出力ブレーカー
UOB2	UPS 2のユニット出力ブレーカー
BB	バッテリーブレーカー

並列保守バイパス盤は1系統主電源システムで使用され、2台のUPSの容量または冗長性を並列処理します。

注記： UPSの内部保守ブレーカーIMB*は、並列保守バイパス盤を備えたシステムでは使用できません。また、内部保守ブレーカーIMB*は開の位置で操作禁止措置（南京錠）を行う必要があります。

Galaxy VS – 並列システム – 1系統主電源

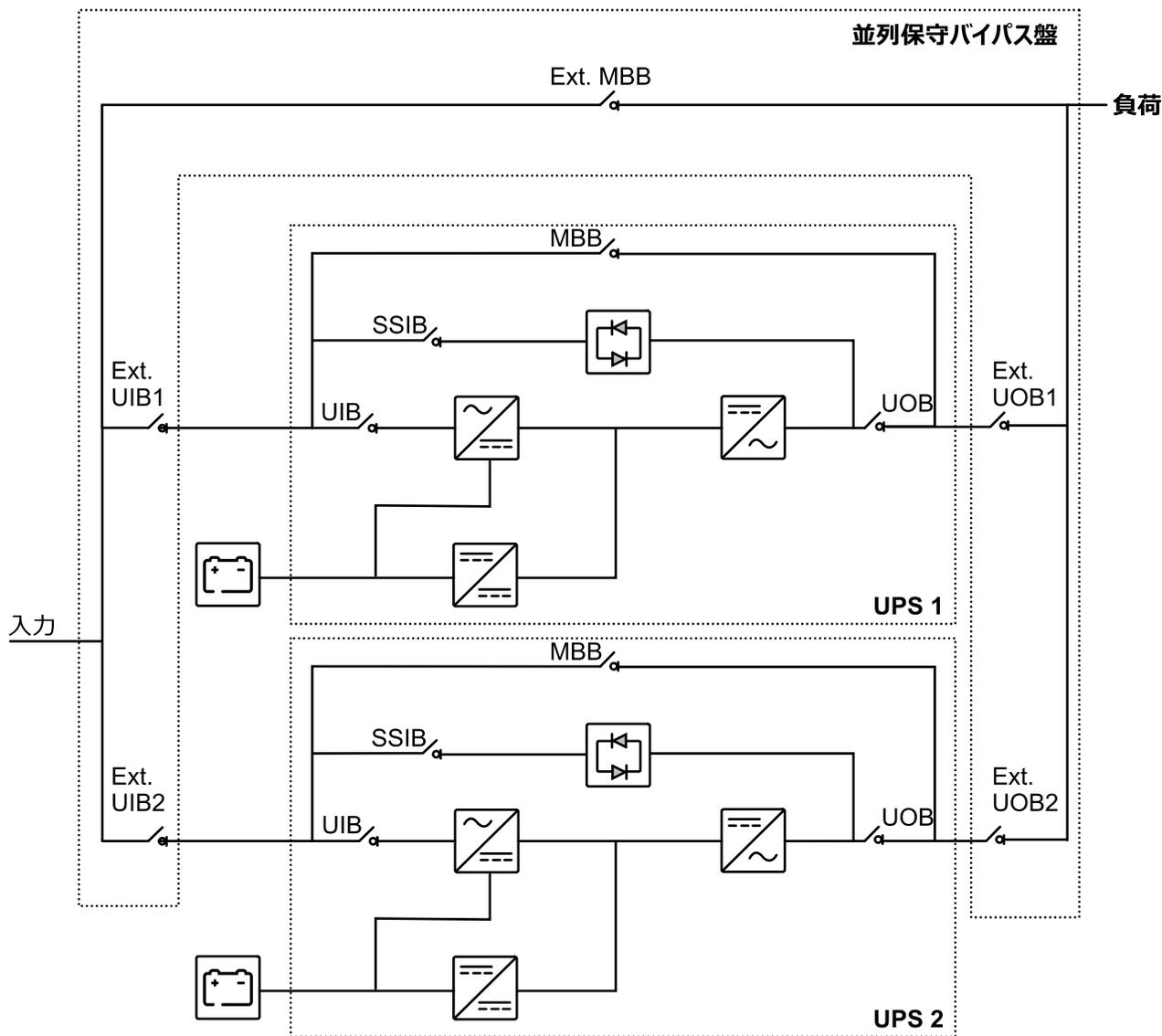


Easy UPS 3S / Easy UPS 3Mの単線接続図

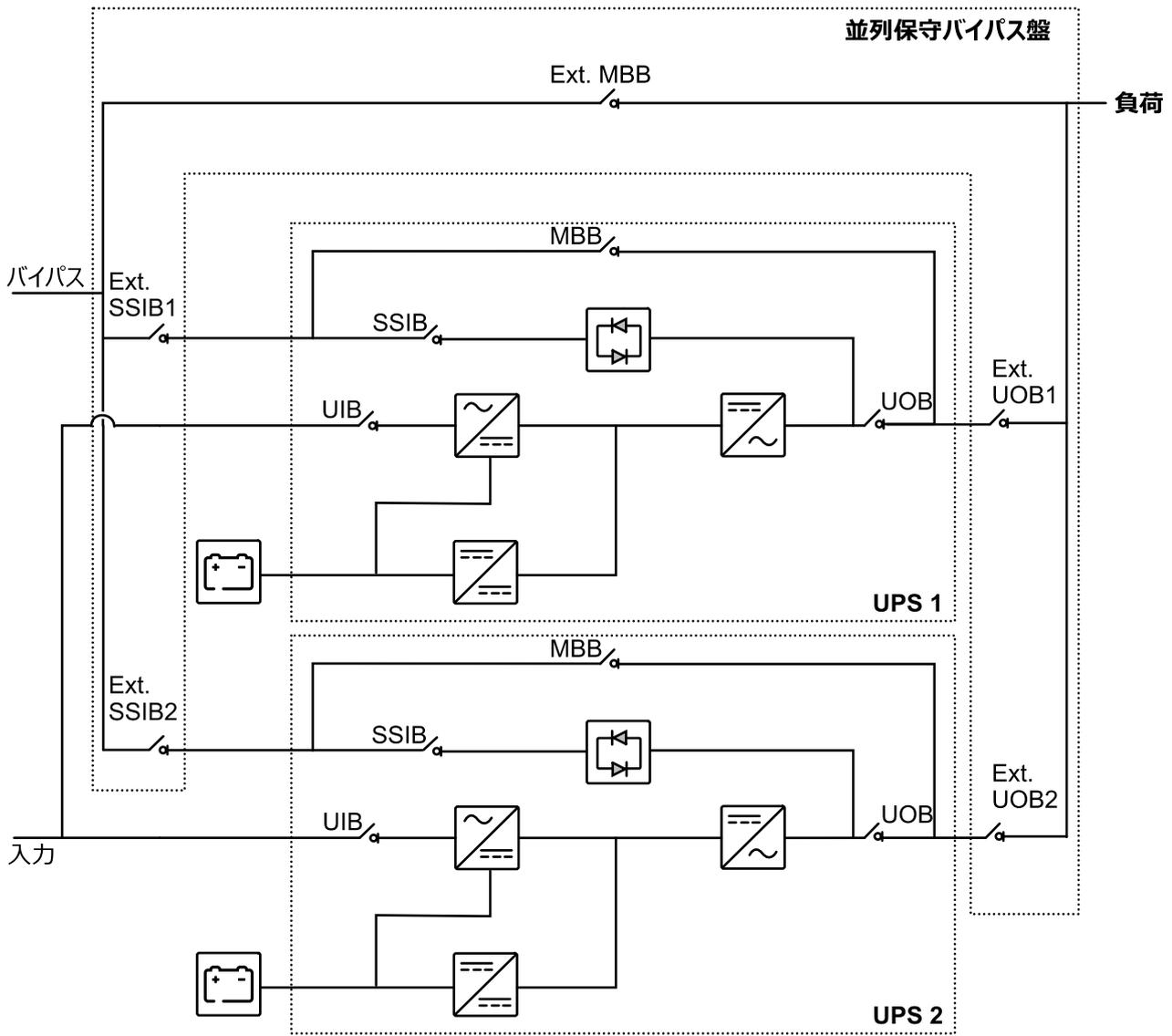
注記： Easy UPS 3S / 3Mの内部MBBは、並列保守バイパス盤を備えたシステムでは使用できません。また、内部MBBは開の位置で操作禁止措置（南京錠）を行う必要があります。保守バイパス運転には、並列保守バイパス盤のExt. MBBのみを使用してください。

UIB	ユニット入力ブレーカー
SSIB	スタティックスイッチ入力ブレーカー
MBB	内部保守バイパスブレーカー
UOB	ユニット出力ブレーカー
Ext. UIB1/Ext. SSIB1	UPS 1の外部ユニット入力ブレーカー / スタティックスイッチ入力ブレーカー
Ext. UIB2/Ext. SSIB2	UPS 2の外部ユニット入力ブレーカー / スタティックスイッチ入力ブレーカー
Ext. MBB	外部保守バイパスブレーカー
Ext. UOB1	UPS 1の外部ユニット出力ブレーカー
Ext. UOB2	UPS 2の外部ユニット出力ブレーカー
BB	バッテリーブレーカー

Easy UPS 3S / Easy UPS 3M – 並列システム – 1系統主電源

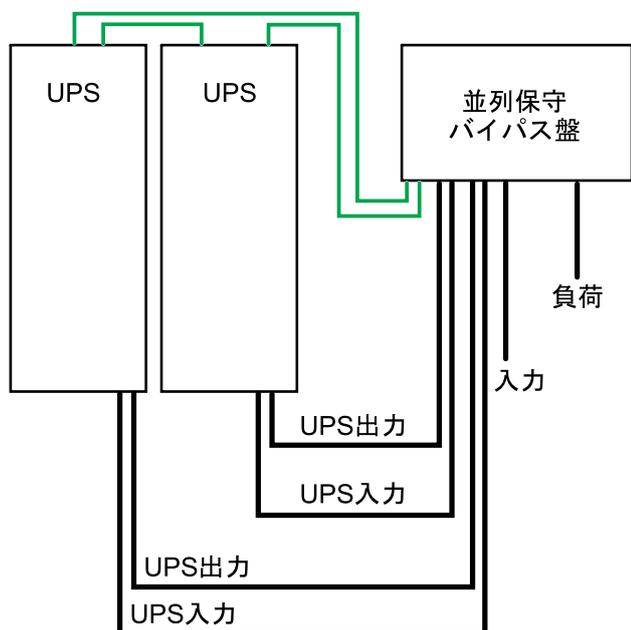


Easy UPS 3S / Easy UPS 3M – 並列システム – 2系統主電源

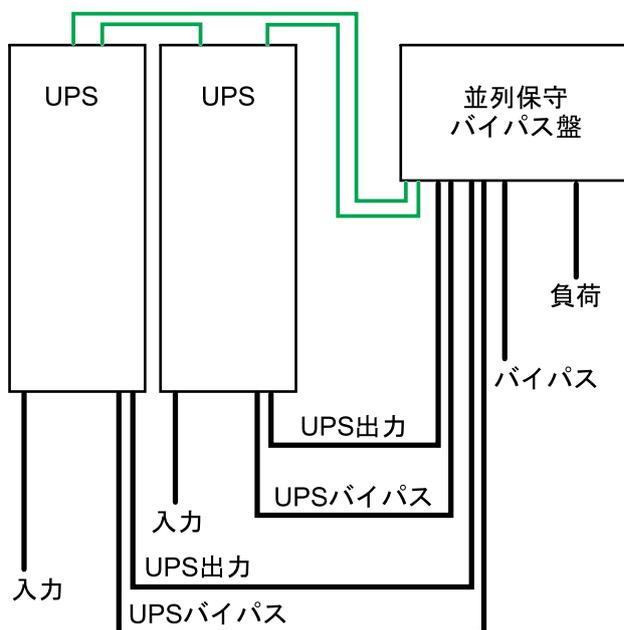


Easy UPS 3S / Easy UPS 3Mの設置手順

1系統主電源



2系統主電源



— 信号線
— 電源ケーブル

1. 並列保守バイパス盤の壁面への取り付け, 25 ページ。
2. ケーブルの準備, 28 ページ。
3. 中性点ジャンパーの取り外し, 29 ページ。
4. 次のいずれかを実行します。
 - 電源ケーブルの3:1 UPSシステムのGVSBPAR40K50Hへの接続, 32 ページ、または
 - 電源ケーブルの3:3 UPSシステムのGVSBPAR40K50Hへの接続, 35 ページ、または
 - 電源ケーブルの3:1 UPSシステムのGVSBPAR60K120Hへの接続, 36 ページ、または
 - 電源ケーブルの3:3 UPSシステムのGVSBPAR60K120Hへの接続, 39 ページ。
5. Easy UPS 3S / Easy UPS 3Mの信号ケーブルの接続, 42 ページ。
6. 翻訳済み安全ラベルの製品への追加, 45 ページ。

設置済みの保守バイパス盤の移動と撤去については、並列保守バイパス盤の撤去または新しい場所への移動, 46 ページを参照してください。

並列保守バイパス盤の壁面への取り付け

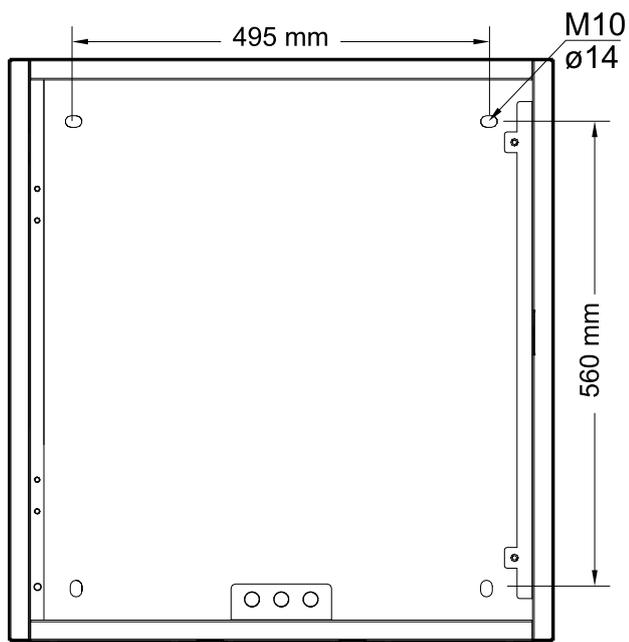
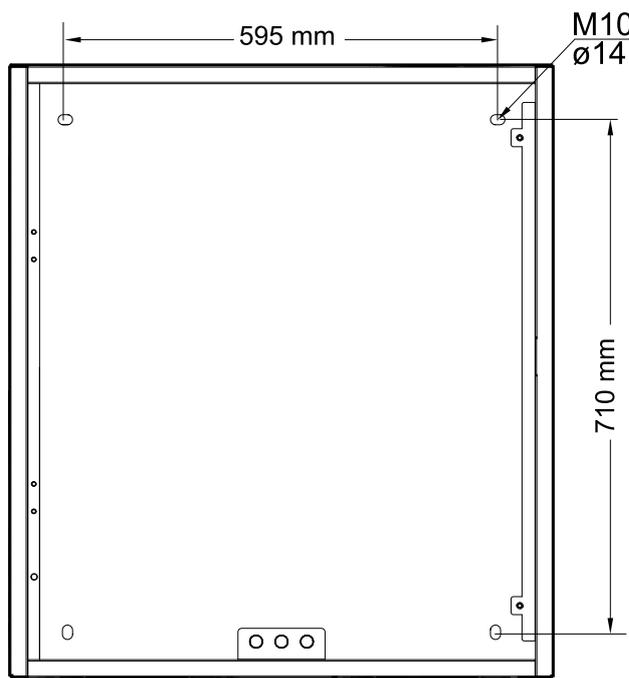
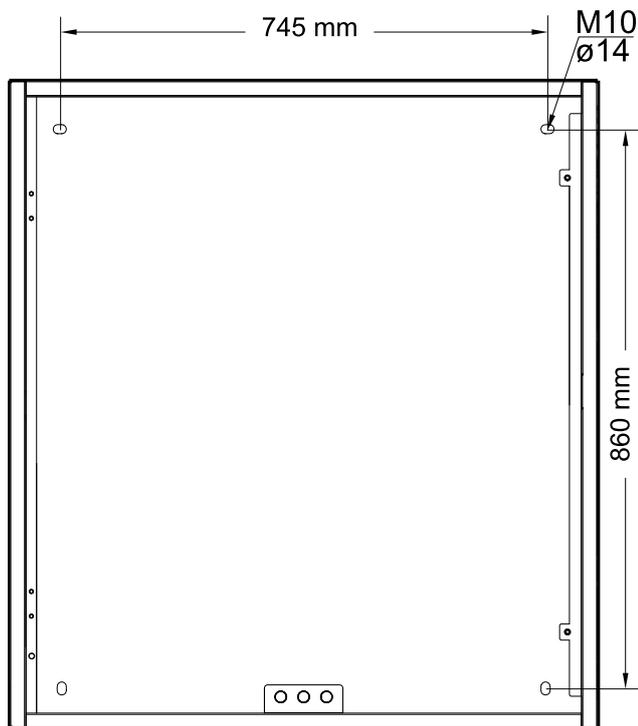
▲ 注意

傷害または機器損傷の危険

- 並列保守バイパス盤は、構造的に安定しユニットの重量を支持できる壁面またはラックに取り付けてください。
- 壁およびラックタイプに対して適切な取り付け用金具を使用してください。

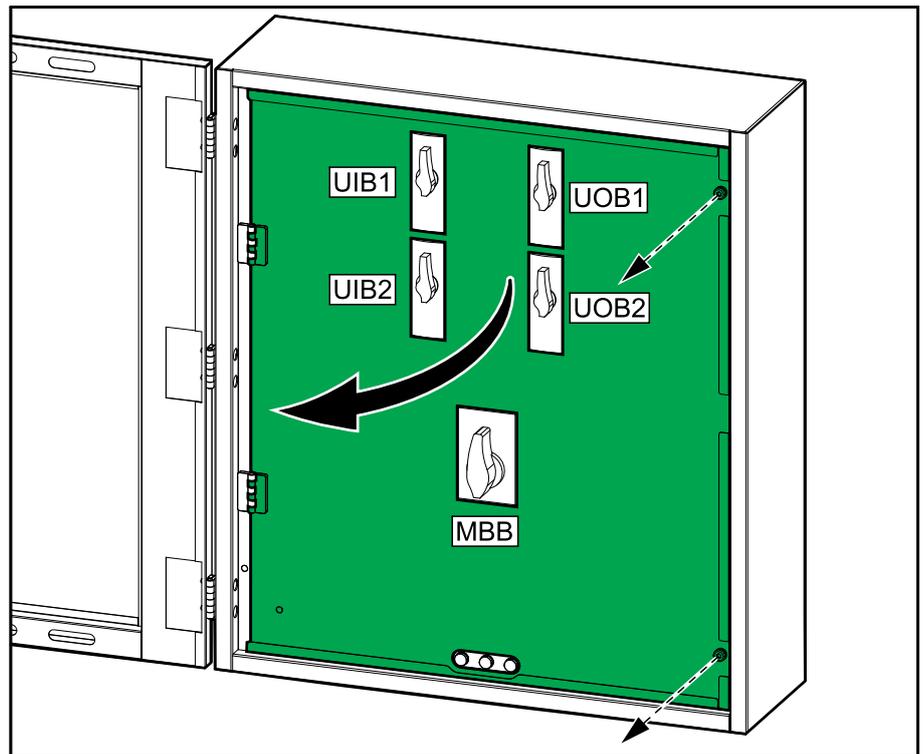
上記の指示に従わないと、負傷または機器の損傷を負う可能性があります。

1. 壁に開ける4個の取り付け穴の位置を計測して印を付けます。

GVSBP10K30H**GVSBP40K50H****GVSBP60K120H**

2. 印を付けた4つの各位置に穴を開け、アンカーボルトを取り付けます。

3. ネジを取り外して、並列保守バイパス盤の内側のドアを開けます。



4. 並列保守バイパス盤を壁面に取り付けます。

ケーブルの準備

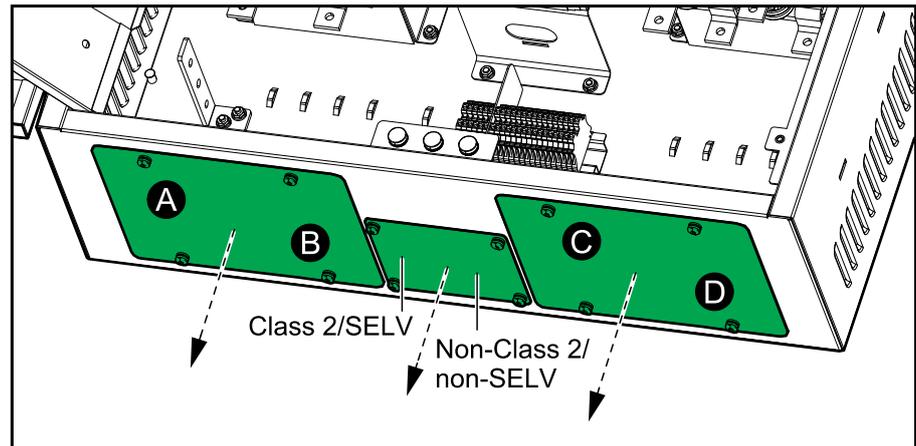
▲危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

取り付けられている配線口カバーに穴をドリルやパンチで開けないでください。また、キャビネットの近くでドリルやパンチを使用しないでください。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

1. 下部の配線口カバーを取り外します。



2. ドリルまたはパンチを使用して、配線口カバーに電源ケーブル用の穴と信号ケーブルまたは電線管用の穴を開けます。UPS入力 (A)、入力 (B)、負荷 (C)、UPS出力 (D)。
3. グロメットを取り付けてから (該当する場合)、配線口カバーをもう一度取り付けます。

▲危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

ケーブルを損傷させる可能性のある鋭利な物は、必ず取り除いてください。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

中性点ジャンパーの取り外し

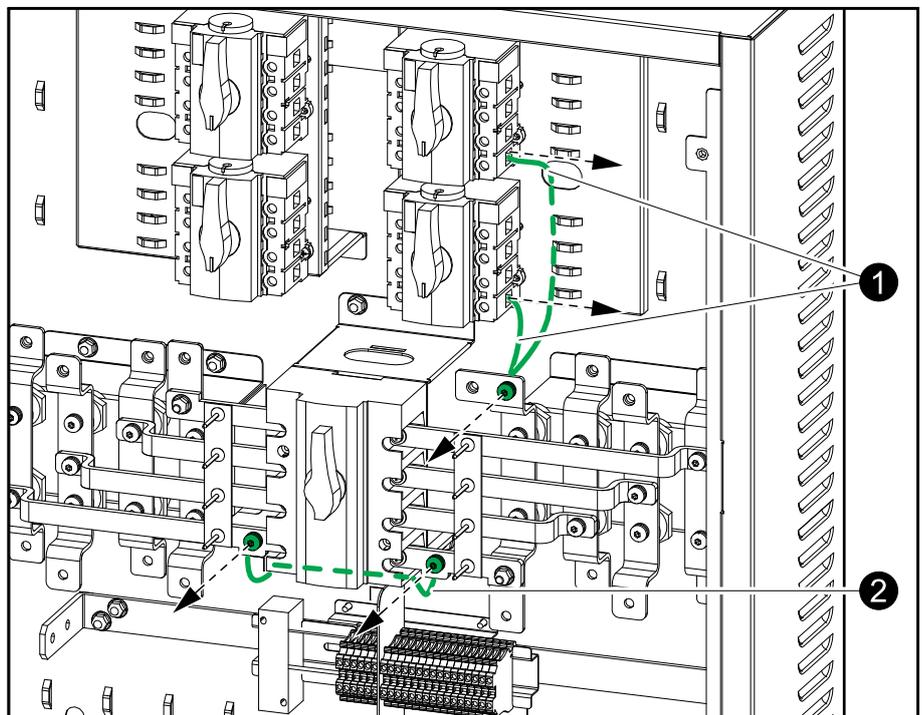
注記： 中性点ジャンパーは、4極ブレーカーが開かれたときに中性点が切断されないように中性点をボルト接続してあります。

注記： Galaxy VSの設置において地域の要件を満たす必要がある場合にのみ、中性点ジャンパーを取り外してください。Galaxy VSの設置の場合、中性点ジャンパーの取り外しは**オプション**となります。

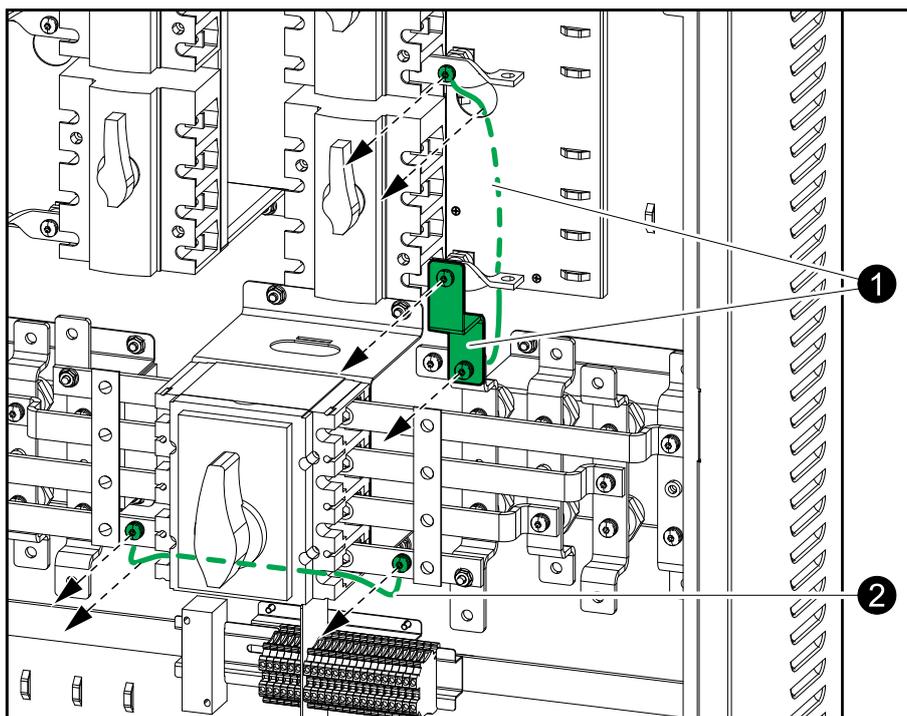
注記： Easy UPS 3S / Easy UPS 3Mの設置においては、必ず中性点ジャンパーを取り外すようにしてください。Easy UPS 3S / Easy UPS 3Mの設置の場合、中性点ジャンパーの取り外しは**必須**となります。

1. UOB1とUOB2の間にある中性点ジャンパー（ケーブル / バスバー）を取り外します。ネジを同じ位置に再度取り付けます。
2. MBBの中性点ジャンパー（ケーブルまたはバスバー）を取り外します。

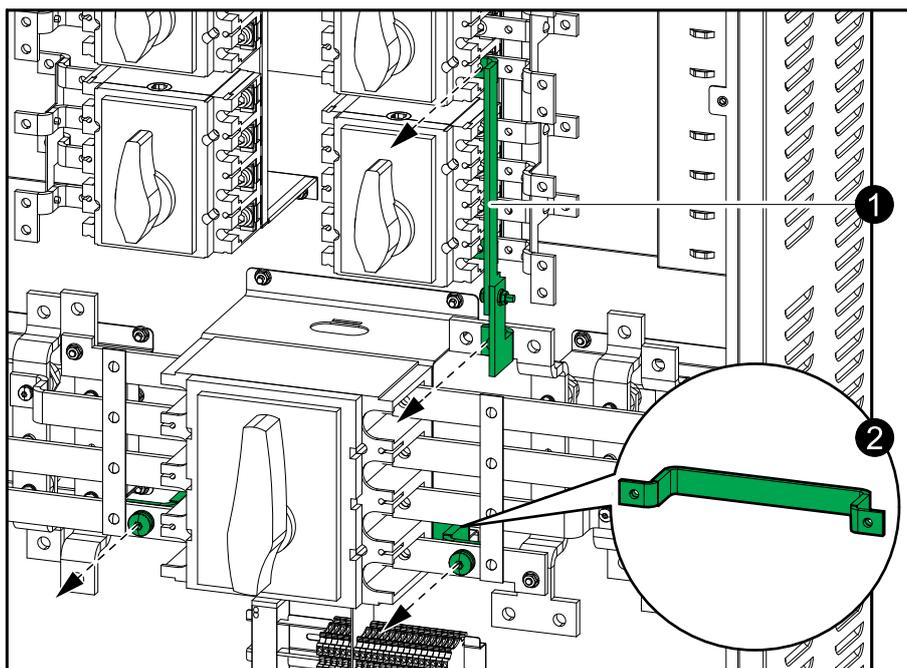
GVSBP10K30H



GVSBP40K50H

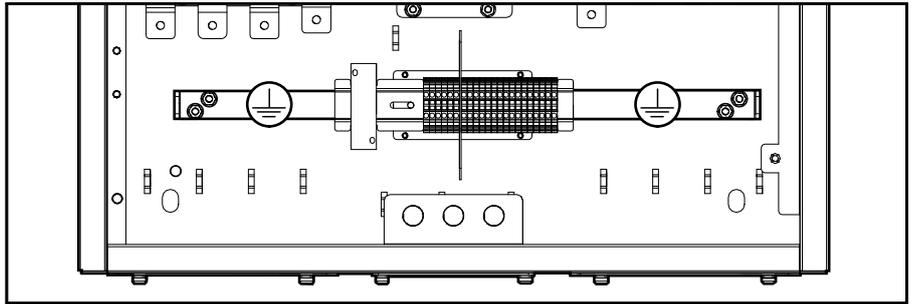


GVSBP60K120H

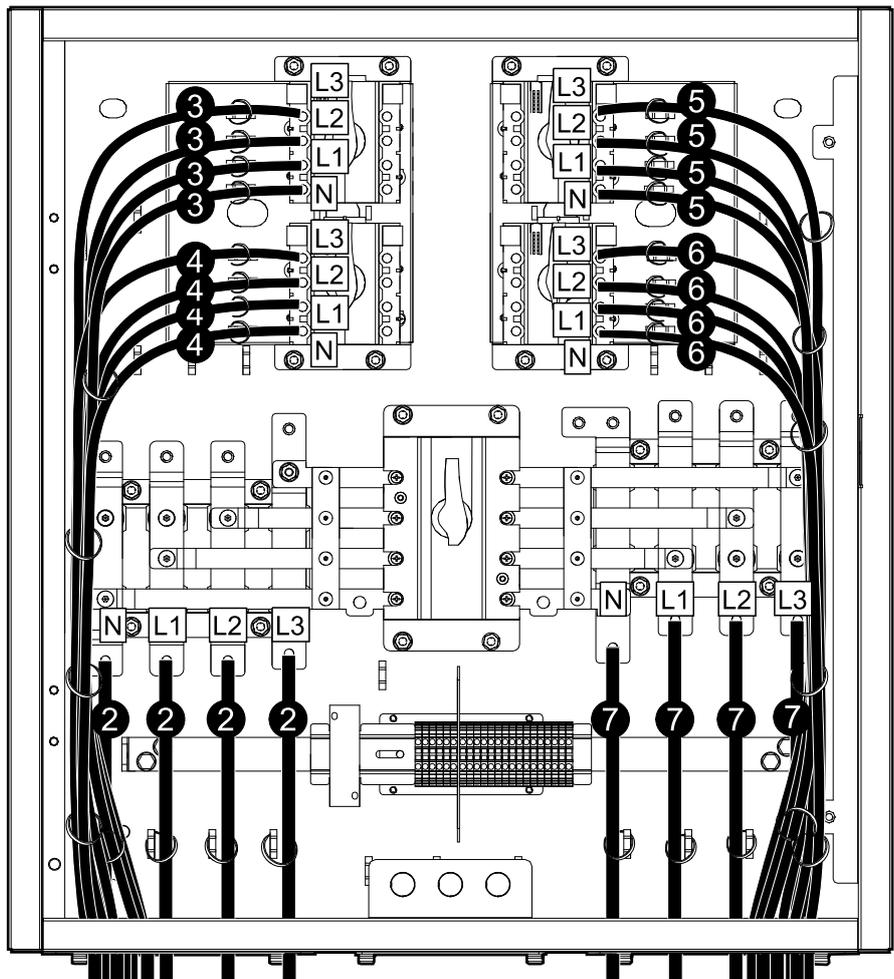


電源ケーブルのGVSBPAR10K30Hへの接続

1. PEケーブルをPEバスバーに接続します。



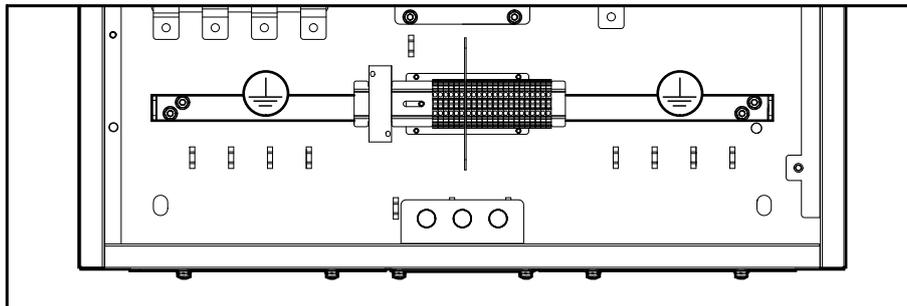
2. 商用電源 / 主電源から入力ケーブルを接続します。



3. UPS 1からUPS入力ケーブルを接続します。
4. UPS 2からUPS入力ケーブルを接続します。
5. UPS 1からUPS出力ケーブルを接続します。
6. UPS 2からUPS出力ケーブルを接続します。
7. 負荷ケーブルを接続します。
8. 上記のようにケーブルをケーブルタイ (付属品) でケーブルリリーフに留めます。

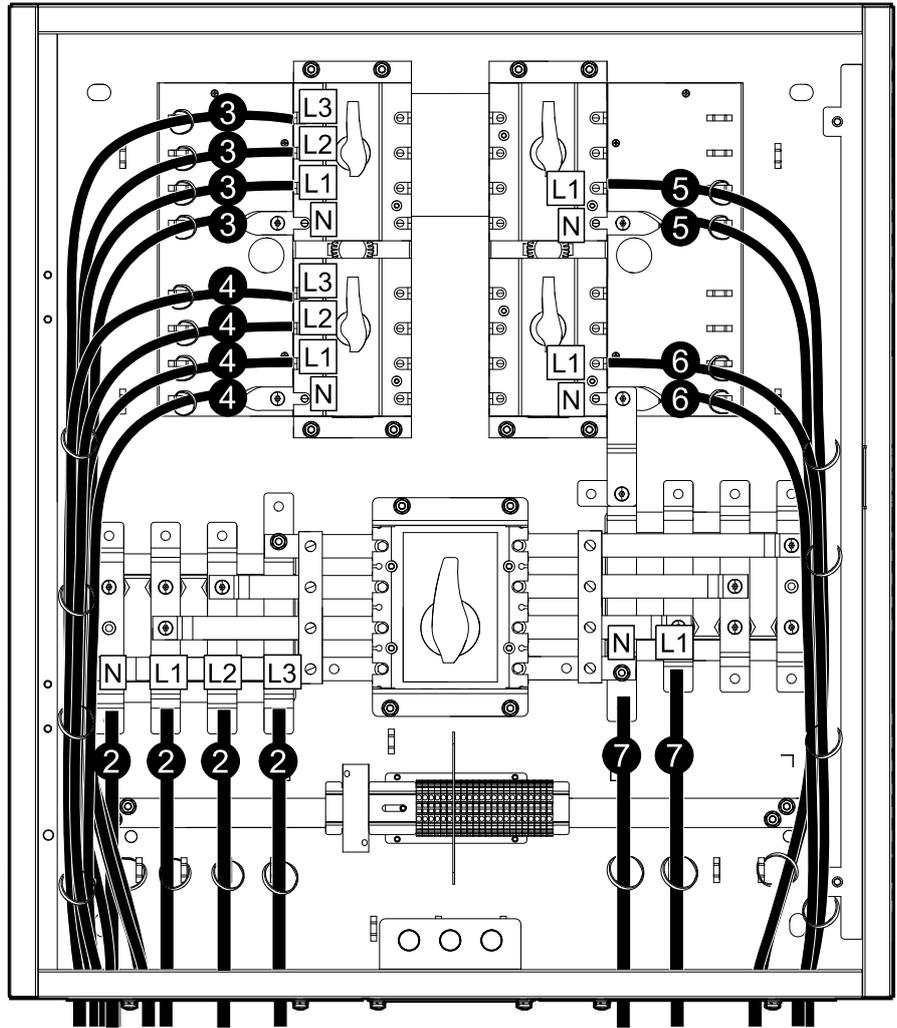
電源ケーブルの3:1 UPSシステムのGVSBPAR40K50Hへの接続

1. PEケーブルをPEバスバーに接続します。

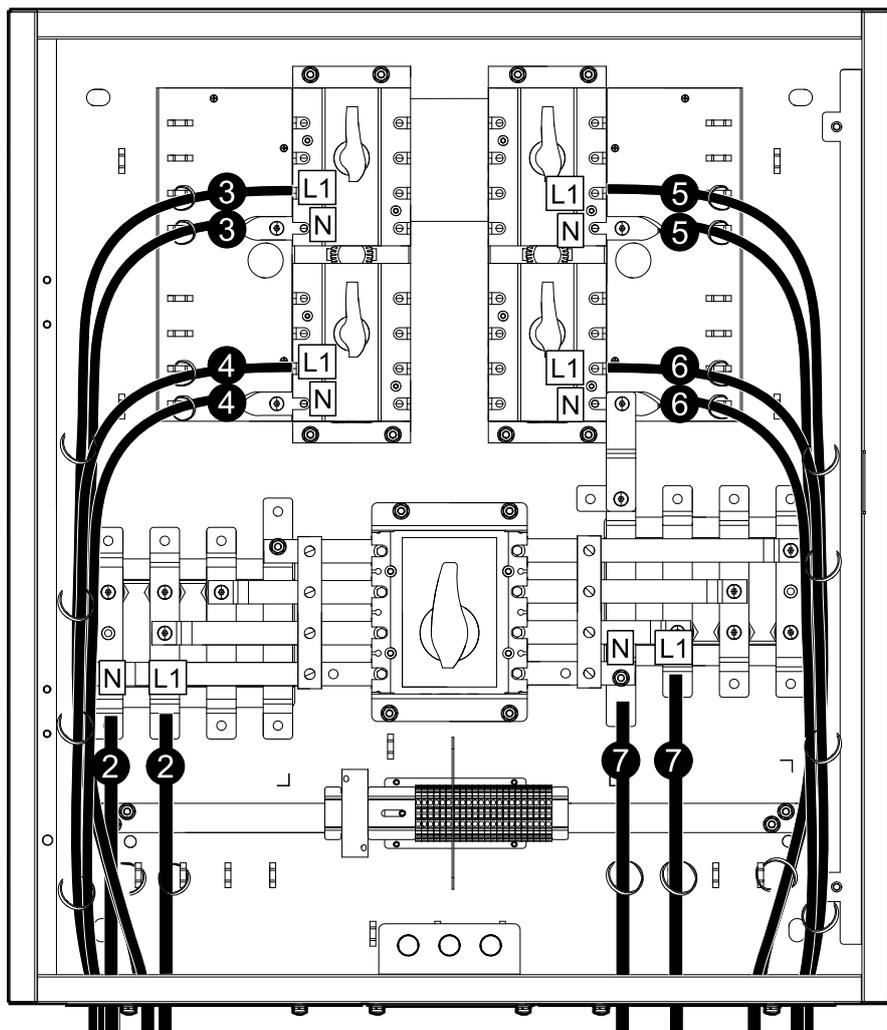


2. 商用電源 / 主電源から入力ケーブル / バイパスケーブルを接続します。

1系統主電源



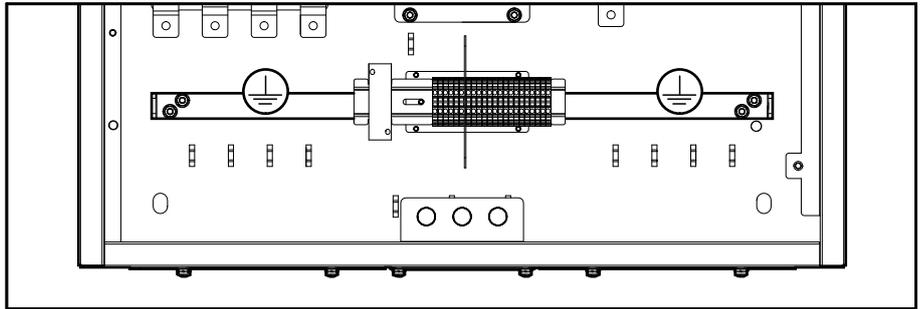
2系統主電源



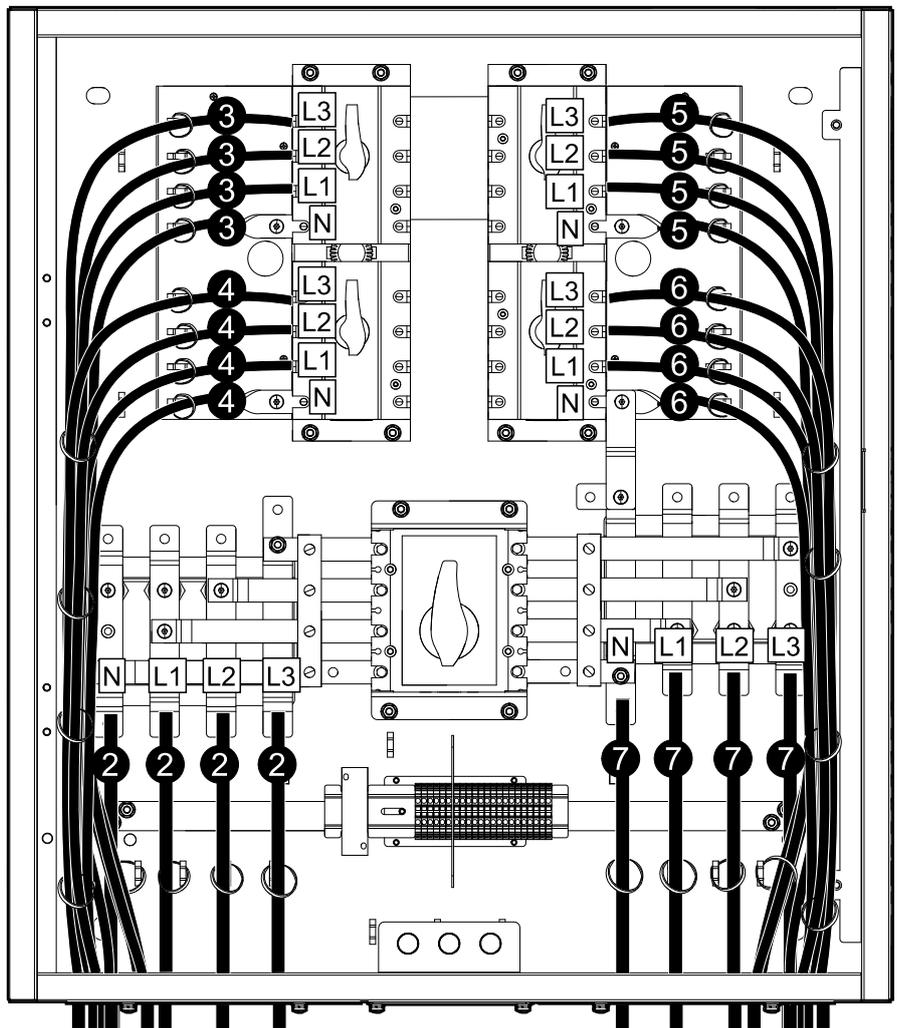
3. UPS 1からUPS入力ケーブル / UPSバイパスケーブルを接続します。
4. UPS 2からUPS入力ケーブル / UPSバイパスケーブルを接続します。
5. UPS 1からUPS出力ケーブルを接続します。
6. UPS 2からUPS出力ケーブルを接続します。
7. 負荷ケーブルを接続します。
8. 上記のようにケーブルをケーブルタイ (付属品) でケーブルリリーフに留めます。

電源ケーブルの3:3 UPSシステムのGVSBPAR40K50Hへの接続

1. PEケーブルをPEバスバーに接続します。



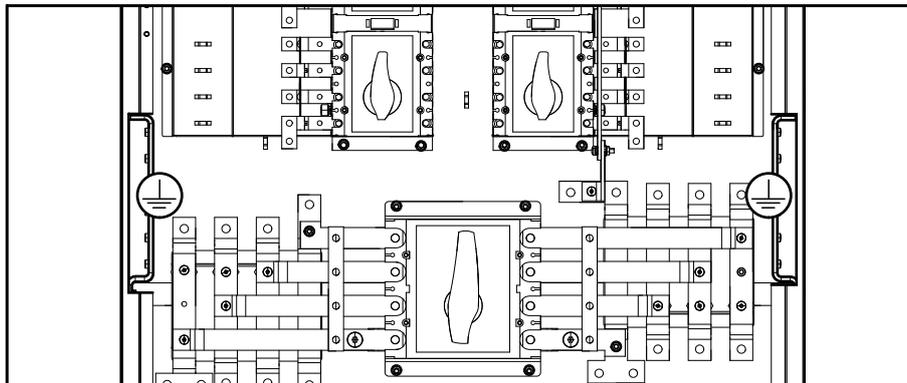
2. 商用電源 / 主電源から入力ケーブル / バイパスケーブルを接続します。



3. UPS 1からUPS入力ケーブル / UPSバイパスケーブルを接続します。
4. UPS 2からUPS入力ケーブル / UPSバイパスケーブルを接続します。
5. UPS 1からUPS出力ケーブルを接続します。
6. UPS 2からUPS出力ケーブルを接続します。
7. 負荷ケーブルを接続します。
8. 上記のようにケーブルをケーブルタイ (付属品) でケーブルリリーフに留めます。

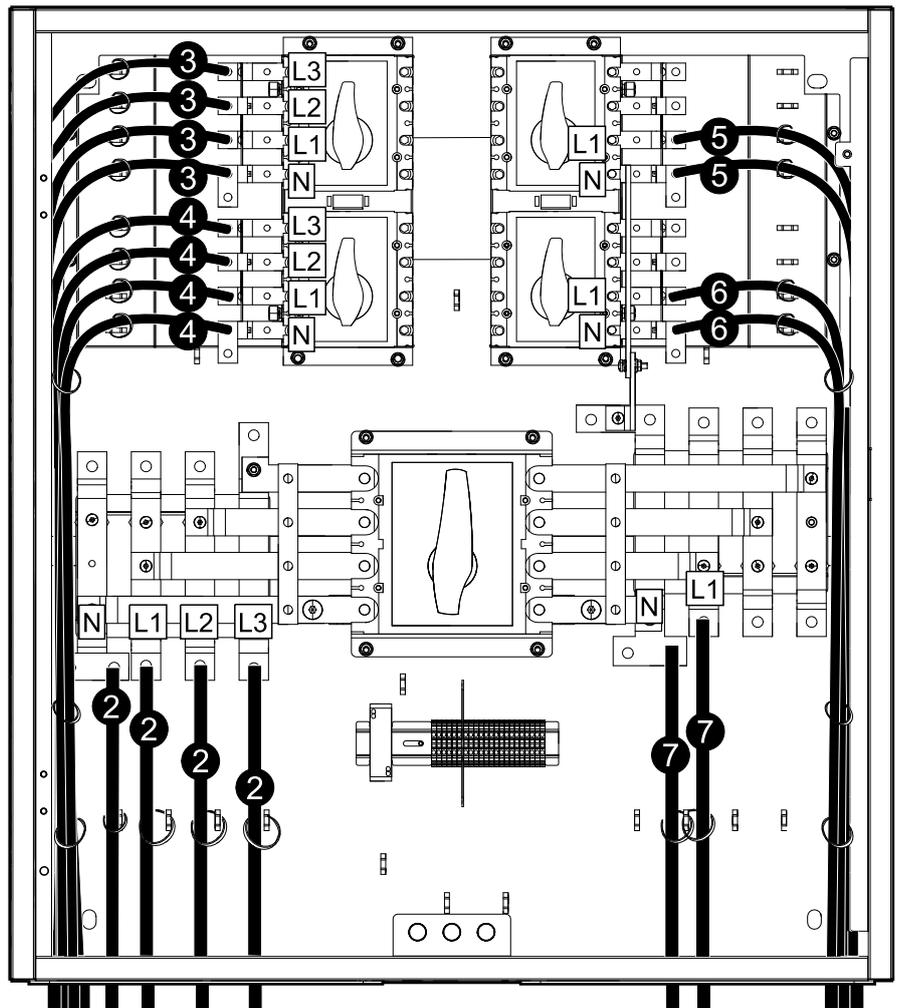
電源ケーブルの3:1 UPSシステムのGVSBPAR60K120Hへの接続

1. PEケーブルをPEバスバーに接続します。

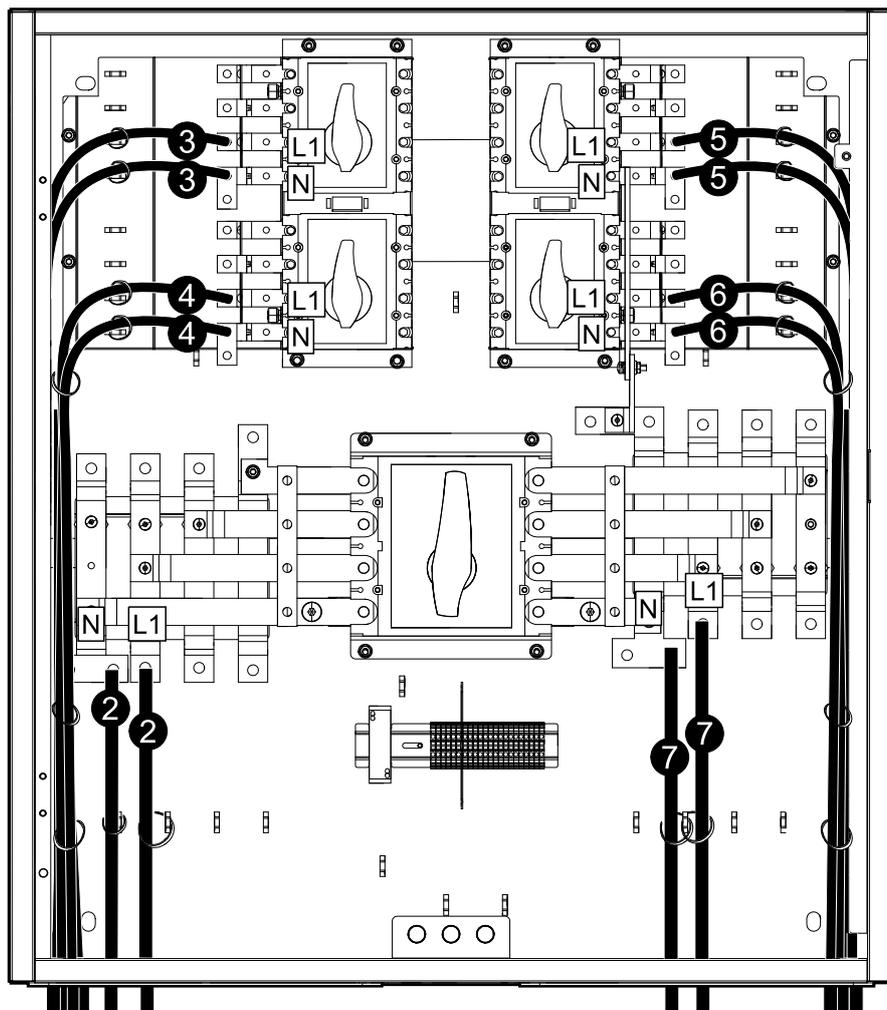


2. 商用電源 / 主電源から入力ケーブル / バイパスケーブルを接続します。

1系統主電源



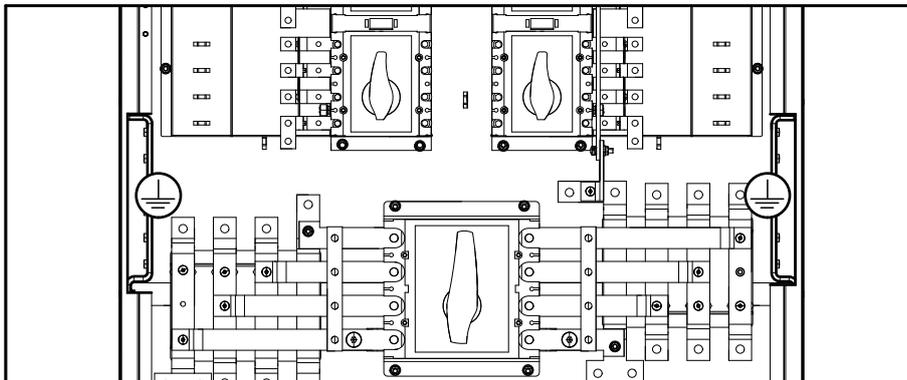
2系統主電源



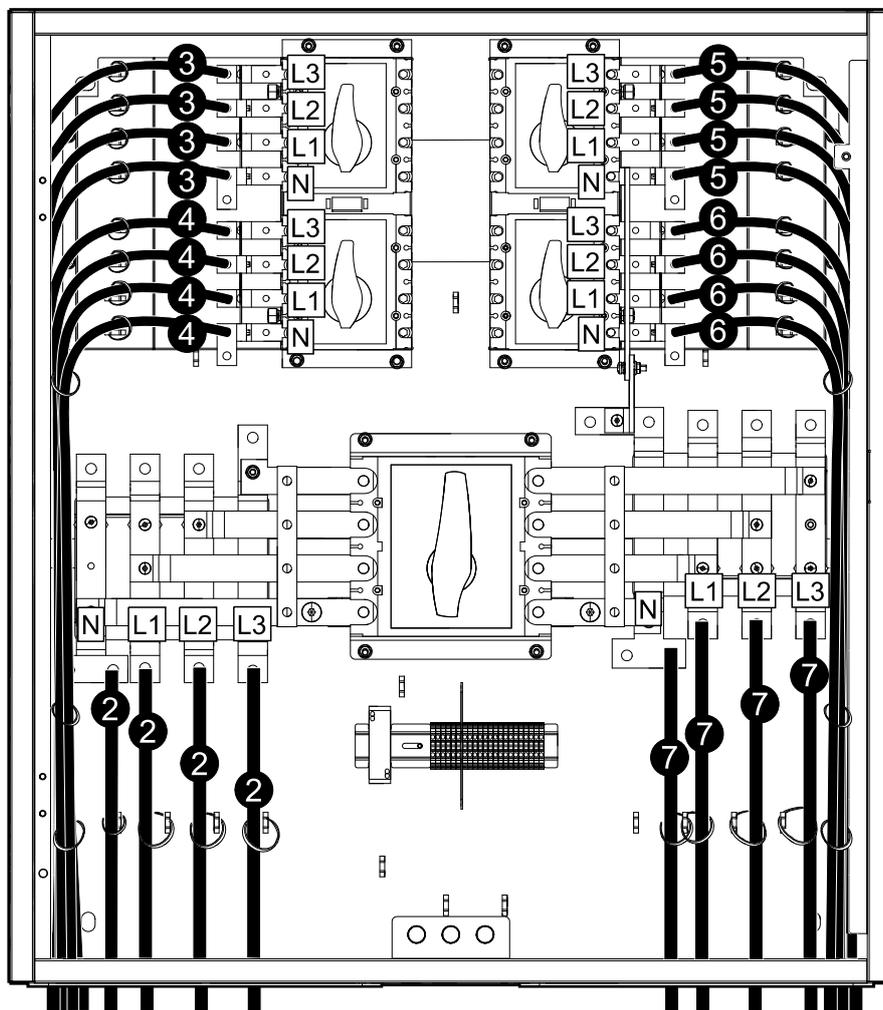
3. UPS 1からUPS入力ケーブル / UPSバイパスケーブルを接続します。
4. UPS 2からUPS入力ケーブル / UPSバイパスケーブルを接続します。
5. UPS 1からUPS出力ケーブルを接続します。
6. UPS 2からUPS出力ケーブルを接続します。
7. 負荷ケーブルを接続します。
8. 上記のようにケーブルをケーブルタイ (付属品) でケーブルリーフに留めます。

電源ケーブルの3:3 UPSシステムのGVSBPAR60K120Hへの接続

1. PEケーブルをPEバスバーに接続します。



2. 商用電源 / 主電源から入力ケーブル / バイパスケーブルを接続します。



3. UPS 1からUPS入力ケーブル / UPSバイパスケーブルを接続します。
4. UPS 2からUPS入力ケーブル / UPSバイパスケーブルを接続します。
5. UPS 1からUPS出力ケーブルを接続します。
6. UPS 2からUPS出力ケーブルを接続します。
7. 負荷ケーブルを接続します。
8. 上記のようにケーブルをケーブルタイ (付属品) でケーブルリリーフに留めます。

Galaxy VS UPSの信号ケーブルの接続

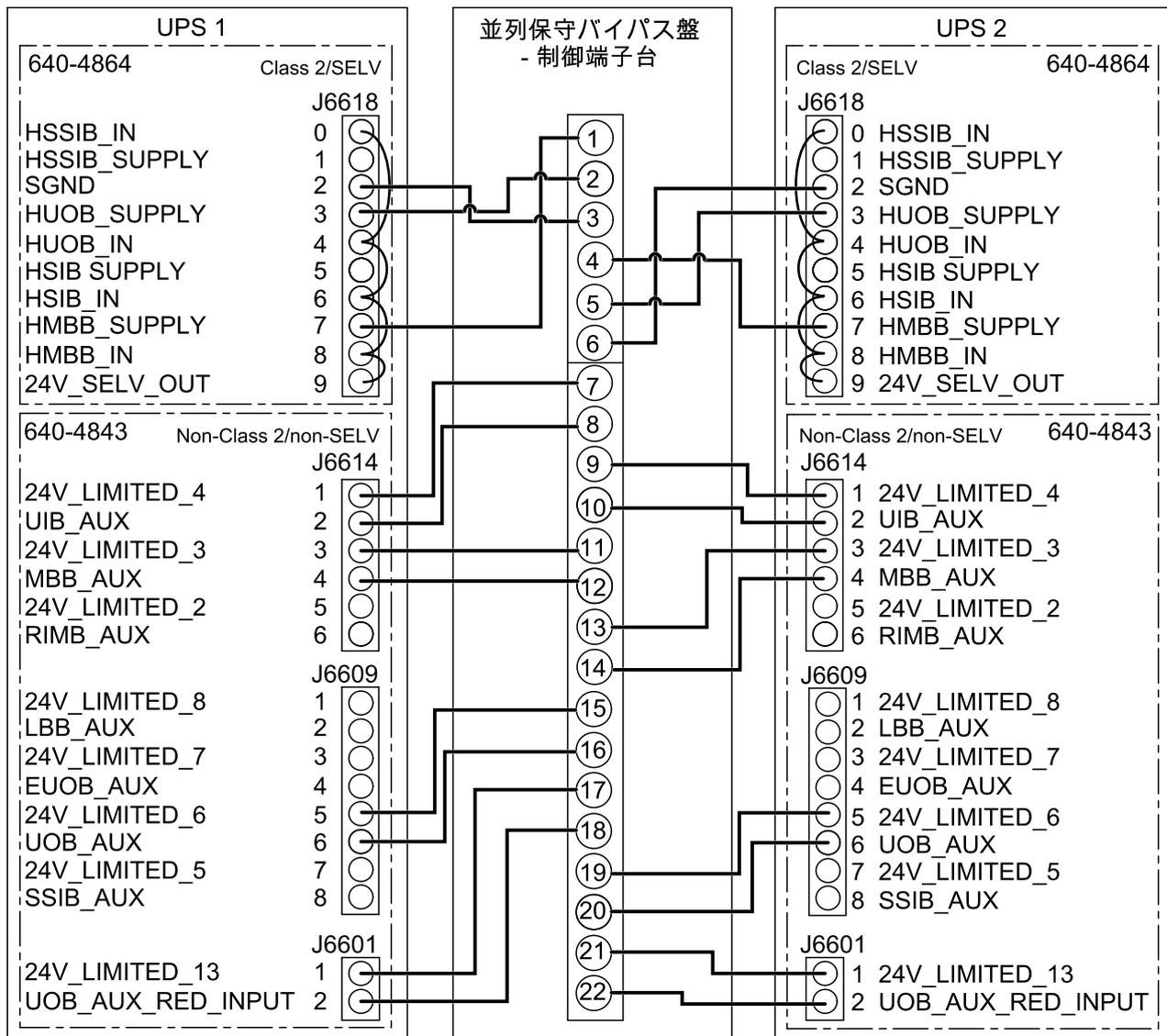
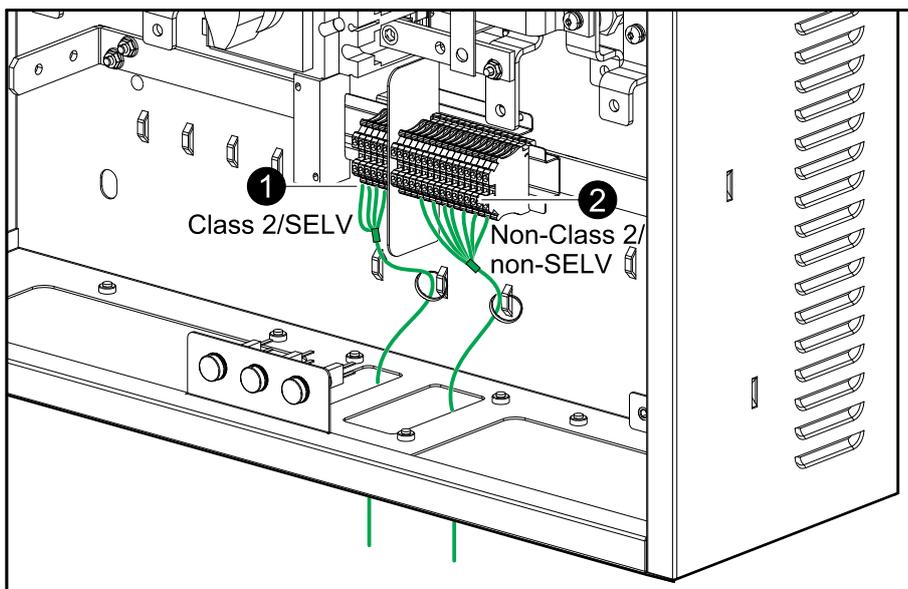
注記： 信号ケーブルは、電源ケーブルとは個別に配線し、Class 2/SELVケーブルは non-Class 2/non-SELVケーブルとは個別に配線してください。

1. ブレーカー表示灯のClass 2/SELV信号ケーブルを、並列保守バイパス盤の制御端子台からUPS 1とUSP 2に接続します。

注記： ブレーカー表示灯回路はClass 2/SELVと見なされています。Class 2/SELV回路は主回路から絶縁する必要があります。回路がClass 2/SELVであると確認できない場合は、ブレーカー表示灯の端子に回路を配線しないでください。

2. non-Class 2/non-SELV信号ケーブルを、並列保守バイパス盤の制御端子台からUPS 1とUSP 2に接続します。

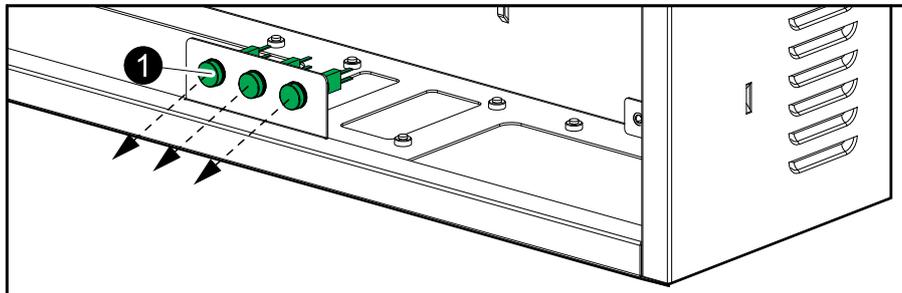
3. 信号ケーブルのたるみを引き上げ、信号ケーブルをケーブルレリーフに固定します。



Easy UPS 3S / Easy UPS 3Mの信号ケーブルの接続

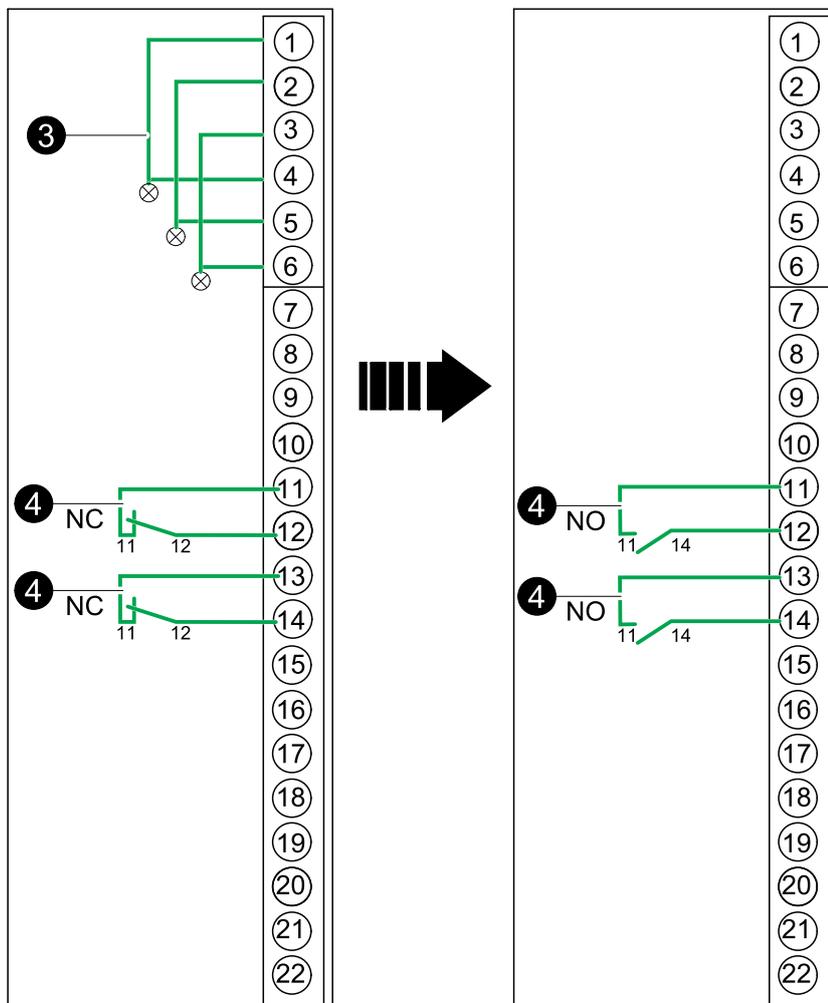
注記： 信号ケーブルは、電源ケーブルとは個別に配線し、Class 2/SELVケーブルは non-Class 2/non-SELVケーブルとは個別に配線してください。

1. 3つのブレーカー表示灯とブレーカー表示灯のラベルを保守バイパス盤から取り外します。ブレーカー表示灯は、Easy UPS 3SとEasy UPS 3Mではサポートされていません。



2. 内側のドアにある穴に、3つの丸いブランクプラグ (別売り) を取り付けます。
3. 制御端子台で、ブレーカー表示灯 (ピン1~6) の内部接続を取り外します。

並列保守バイパス盤
- 制御端子台

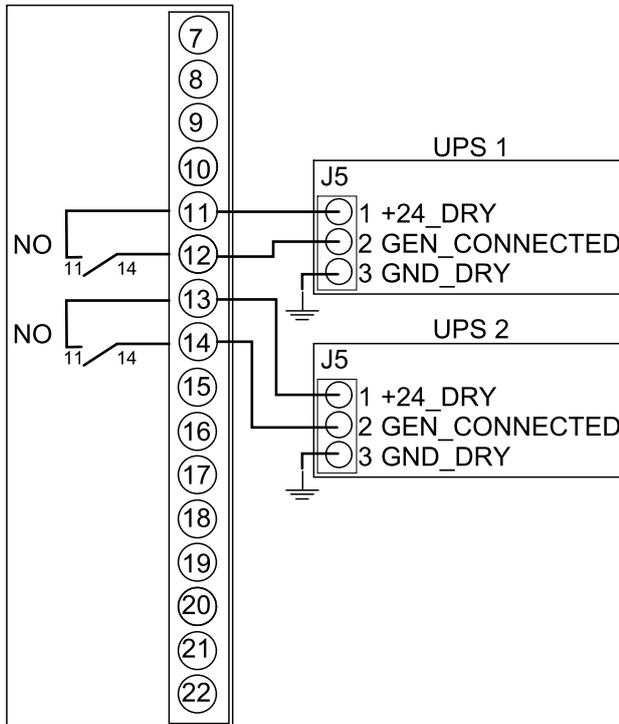


4. 制御端子台で、MBB AUXスイッチ (ピン11~14) の内部接続を通常閉 (NC) から通常開 (NO) に変更します。

5. non-Class 2/non-SELV信号線を、並列保守バイパス盤の制御端子台からUPS 1とUPS 2に接続します。以下のいずれかのオプションを実行してください。
 - **Easy UPS 3Sの場合** : UPSのJ5、またはUPSのJ6とJ7に接続します。
 - **Easy UPS 3Mの場合** : UPSのJ8に接続します。

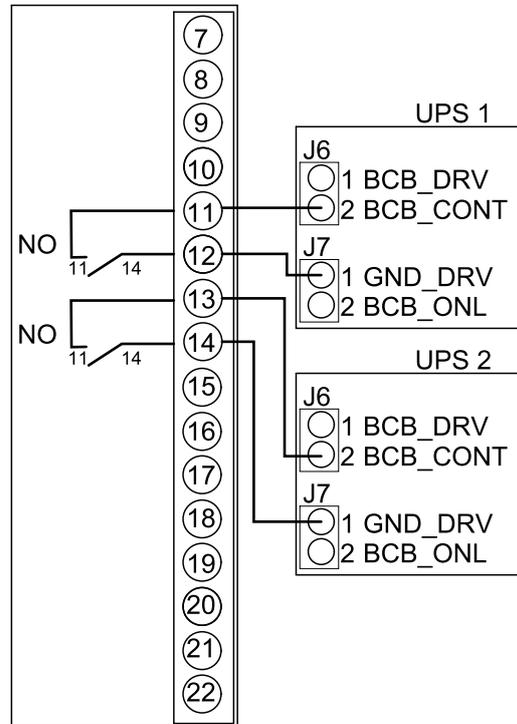
Easy UPS 3S

並列保守バイパス盤 - 制御端子台



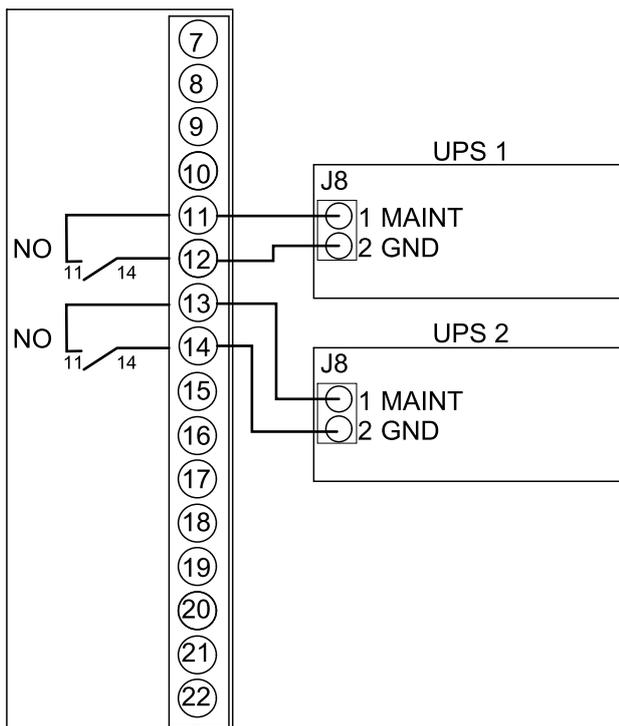
Easy UPS 3S

並列保守バイパス盤 - 制御端子台

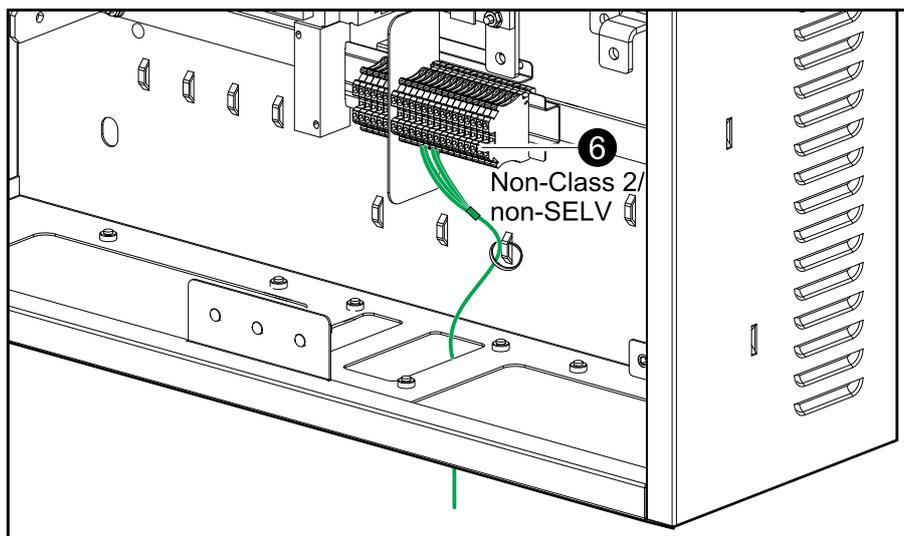


Easy UPS 3M

並列保守バイパス盤 - 制御端子台



6. 信号線のたるみを引き上げ、信号線をケーブルリーフに固定します。



翻訳済み安全ラベルの製品への追加

製品の安全ラベルは、英語とフランス語で記載されています。製品には翻訳済み安全ラベルのシートが同梱されています。

1. 製品に同梱されている翻訳済み安全ラベルの付いたシートを取り出します。
2. どの885-XXX番号が翻訳済み安全ラベルの付いたシートに記載されているかを確認します。
3. シートにある翻訳済み安全ラベルの番号885-XXXと一致する安全ラベルを製品上で探します。
4. 目的の言語で記載されている差し替え用の安全ラベルを、フランス語で記載されている既存の安全ラベル上に追加します。

並列保守バイパス盤の撤去または新しい場所への移動

1. UPSを完全にシャットダウンし、UPSの操作マニュアルの指示に従います。
2. スイッチギアのすべてのブレーカーをオフ（開）にしてロックアウトまたはタグアウトします。
3. スイッチギア-バッテリーソリューションのすべてのバッテリーブレーカーをオフ（開）にしてロックアウトまたはタグアウトします。
4. 上流ブレーカーがすべてオフ（開）の位置であることを確認します。

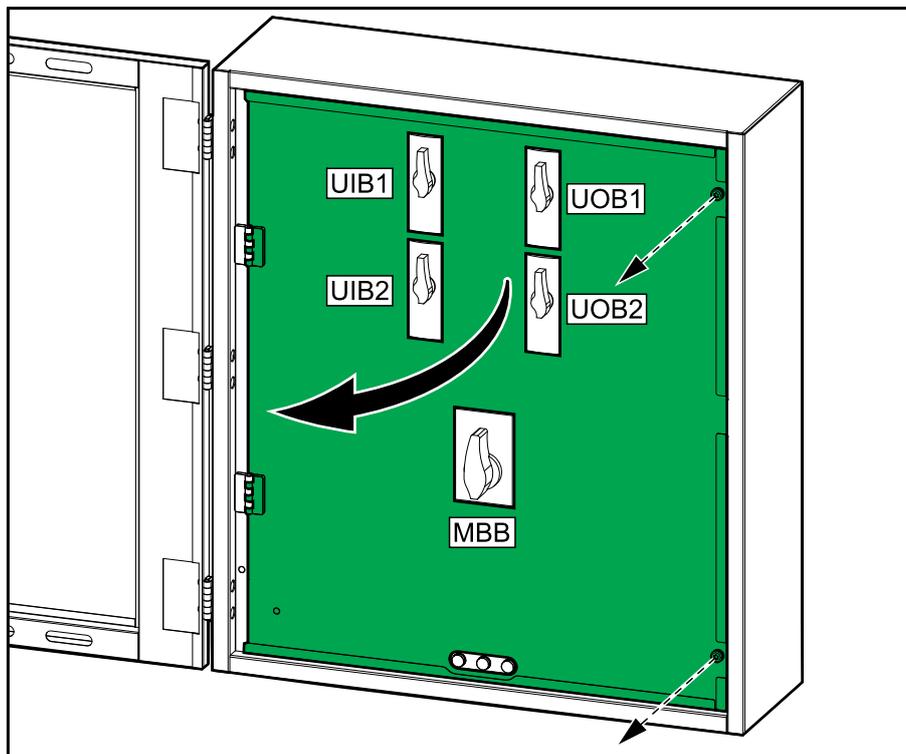
⚡⚠危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

上流ブレーカーがすべてオフ（開）の位置であることを確認します。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

5. 並列保守バイパス盤の前面ドアを開けます。
6. 並列保守バイパス盤のUIB1、UIB2、UOB1、UOB2、およびMBBをOFF（開）にしてロックアウトまたはタグアウトします。
7. ネジを取り外して、並列保守バイパス盤の内側のドアを開けます。



8. 続行する前に、入力バイパスバスバー、UPS入力/UPSバイパスバスバー、UPS出力バスバー、負荷バスバーの各電圧を測定し、電圧がないことを確認します。

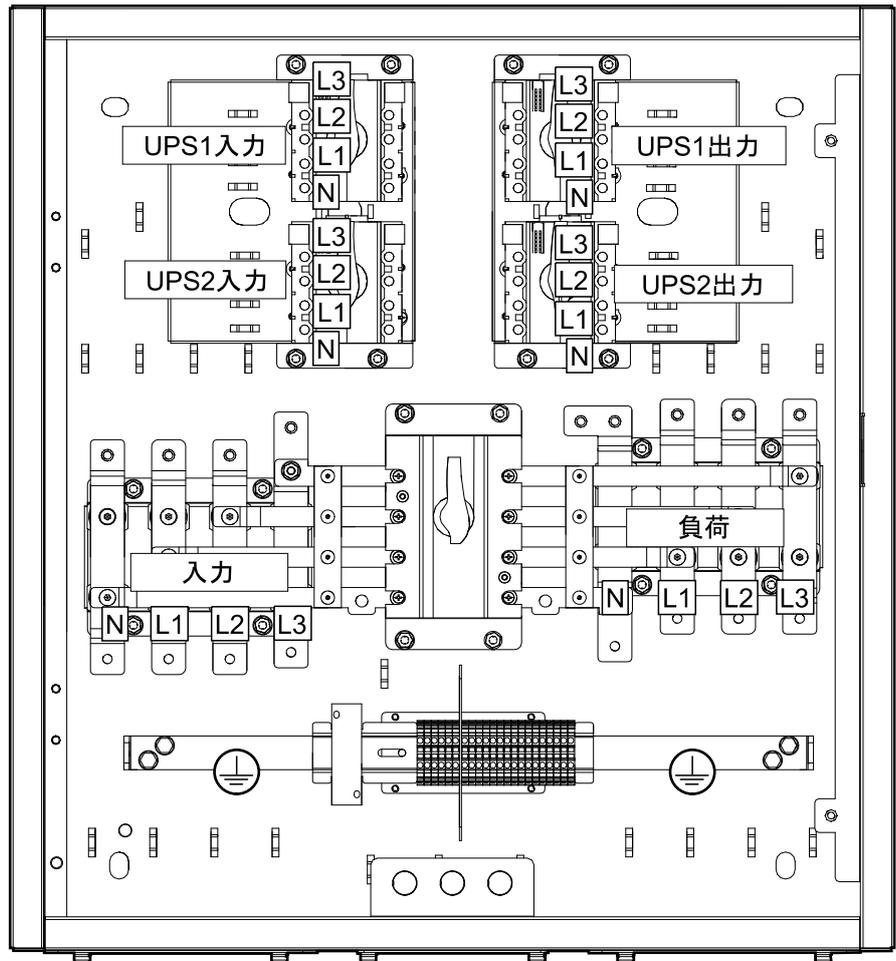
⚠️ 危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

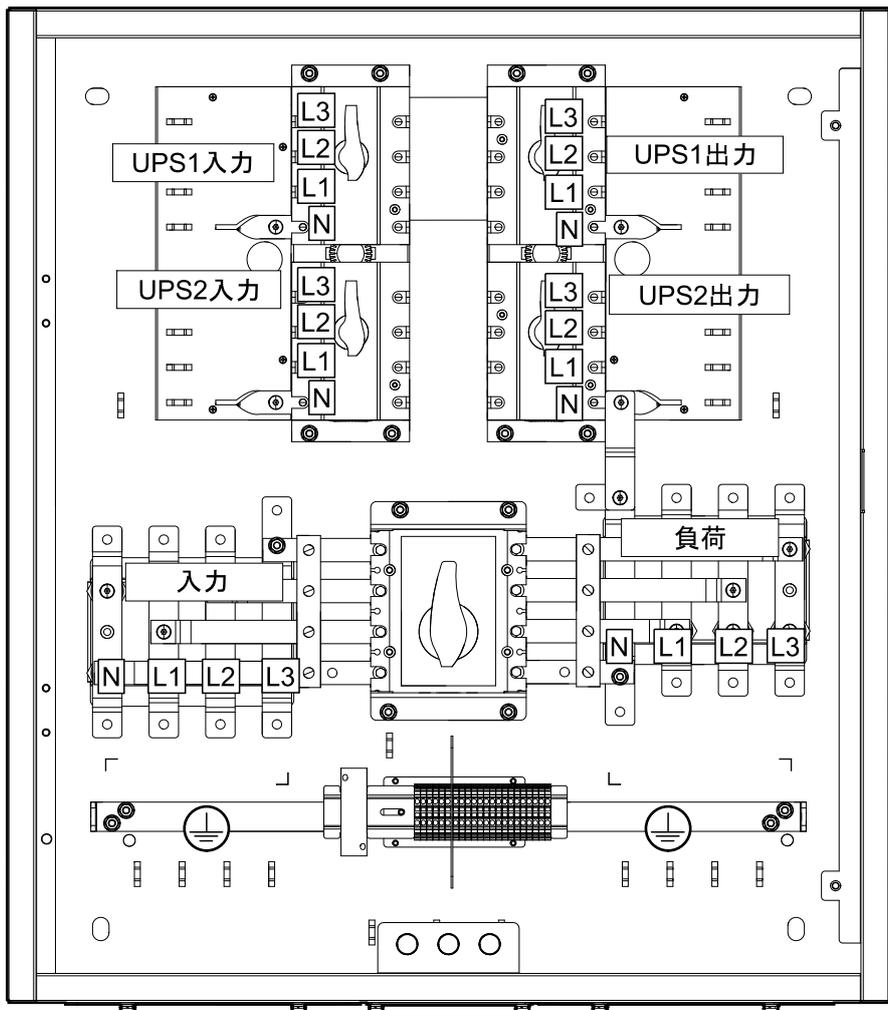
続行する前に、入力バイパスバスバー、UPS入力/UPSバイパスバスバー、UPS出力バスバー、負荷バスバーの各電圧を測定し、電圧がないことを確認します。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

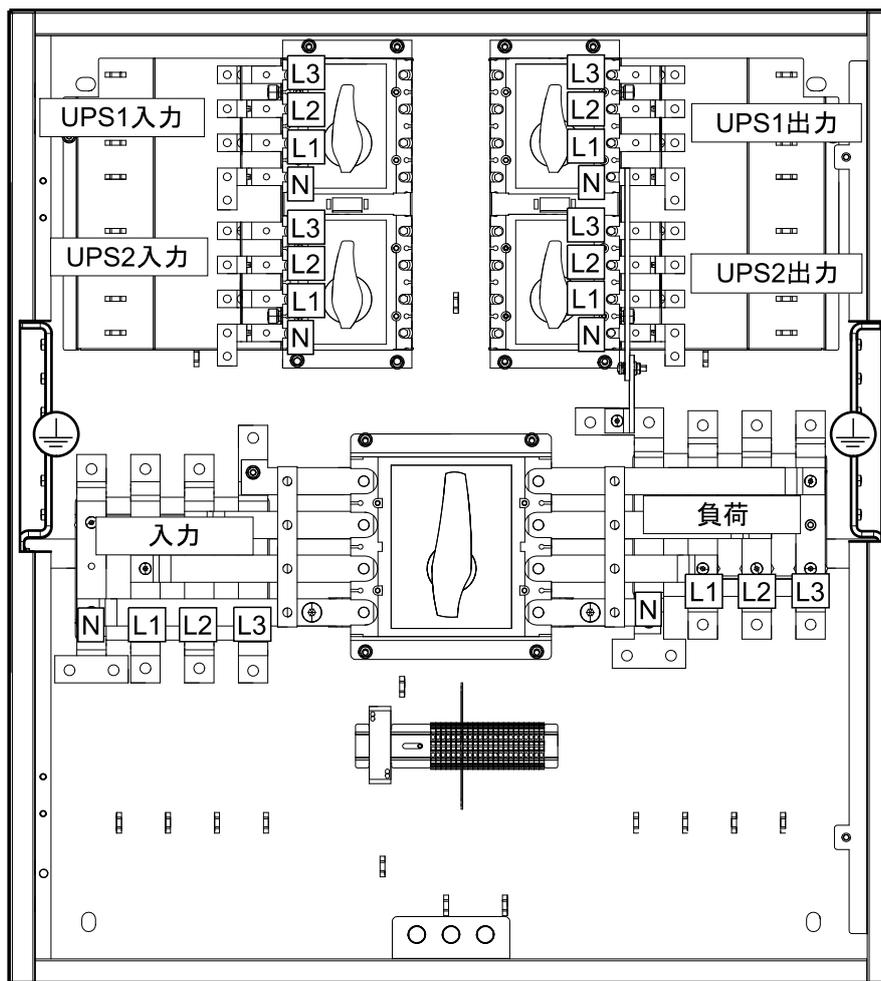
GVSBP10K30H



GVSBP40K50H



GVSBP60K120H



9. 並列保守バイパス盤からすべての電源ケーブルを取り外します。詳細については、電源ケーブルのGVSBP10K30Hへの接続, 31 ページ、電源ケーブルの3:1 UPSシステムのGVSBP40K50Hへの接続, 32 ページ、電源ケーブルの3:3 UPSシステムのGVSBP40K50Hへの接続, 35 ページ、電源ケーブルの3:1 UPSシステムのGVSBP60K120Hへの接続, 36 ページ、または電源ケーブルの3:3 UPSシステムのGVSBP60K120Hへの接続, 39 ページを参照してください。
10. 並列保守バイパス盤からすべての信号ケーブルを取り外します。詳細については、Galaxy VS UPSの信号ケーブルの接続, 40 ページ、またはEasy UPS 3S / Easy UPS 3Mの信号ケーブルの接続, 42 ページを参照してください。
11. 壁から4本のネジを外し、並列保守バイパス盤を壁から取り外します。

▲ 注意

重量物

GVSBP10K30Hの重量は35 kg、GVSBP40K50Hの重量は86 kg、GVSBP60K120Hの重量は110 kgです。並列保守バイパス盤を安全に持ち上げるために適切なツールを使用してください。

上記の指示に従わないと、負傷または機器の損傷を負う可能性があります。

12. 内側のドアを閉じて、ネジで固定します。
13. 並列保守バイパス盤の前面ドアを閉じてロックします。

14. 運搬：

▲ 警告
<p>転倒の危険</p> <p>並列保守バイパス盤を運搬する際は、以下のことを確認してください：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 運搬を行う担当者が必要な技能を持ち、十分な訓練を受けていること • 製品を安全に持ち上げ、運搬するために適切なツールを使用すること • 適切な防護物（包装や梱包など）を用いて製品を損傷から守ること <p>上記の指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷を負う可能性があります。</p>

運搬の要件：

- 適切なパレットの中央に並列保守バイパス盤を水平に配置してください（最小パレット寸法：1000 mm x 1200 mm）。パレットは並列保守バイパス盤（35～110 kg）の重量に適したものを使用してください。
- 積み込み、運搬、積み下ろしの際の振動や衝撃に耐えられる適切な固定金具で並列保守バイパス盤をパレットに取り付けてください。
- 元の出荷用パレットと元の運搬用金具の組み合わせは、破損していない状態であれば再利用可能です。

▲ 警告
<p>予期しない機器の動作</p> <p>フォークリフトパレットトラックで並列保守バイパス盤を直接持ち上げないでください。並列保守バイパス盤が曲がったり、破損したりする恐れがあります。</p> <p>上記の指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷を負う可能性があります。</p>

15. 次のいずれかを実行します。

- 並列保守バイパス盤の撤去、または
- 並列保守バイパス盤を新しい場所へ移動して取り付けます。

16. **並列保守バイパス盤を新しい場所に取り付ける場合**：設置マニュアルに従って、新しい場所に並列保守バイパス盤を取り付けてください。取り付けの概要については、Galaxy VSの設置手順、23 ページまたはEasy UPS 3S / Easy UPS 3Mの設置手順、24 ページを参照してください。再設置および起動は、有資格者のみが行ってください。

Schneider Electric
35 rue Joseph Monier
92500 Rueil Malmaison
France

+ 33 (0) 1 41 29 70 00



規格、仕様、設計はその時々で変更されるため、この出版物に含まれる情報は必ず確認を取ってください

© 2019 – 2023 Schneider Electric. 著作権保有

990-91216D-018